



- ADVANCED HERITAGE -

製品説明書

本書は取付け作業前 及び ご使用前に必ずお読みください。

取付けは必ず専門業者に依頼してください。

本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

適合車両

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	ADVANCED HERITAGE CFRP INTAKE SYSTEM
用 途	自動車専用部品
コ ー ド No.	70029-AN001
製品説明書品番	E04500-N48010-00
車 名	ニッサン スカイライン GT-R
型 式	BNR32
エンジン型式	RB26DETT
年 式	1989年08月 ~ 1994年12月
整備要領書品番	A006020、A006021
備 考	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・純正ECU非対応・純正エアフロセンサ非対応（※エアフロセンサは専用品となります。センサ特性データは本書38頁またはHKSホームページより入手してください）・ノーマルタービン、HKS GTスポーツタービンキットに対応・パワーステアリングフルードの交換及びエア抜き作業が必要・BCNR33及びBNR34 非対応 <p>【別途必要部品】</p> <ul style="list-style-type: none">・HKS F-CON V Pro などの適合ツール・ニッサン パワーステアリングフルード・耐熱ビニールテープ・シールテープ

目次

目次/用語の説明/改訂記録	1
はじめに/本書・製品について/警告・注意マークの説明/お使いいただく前に	2
パーツリスト	3
1. ノーマルパーツの取外し	10
2. 補器類の取外し	18
3. 純正配管の変更	20
4. キットパーツの取付け	21
5. ノーマルパーツの取付け	37
6. パワーステアリング(PS)油圧回路のエア抜き	37
7. エンジン制御について	38
取付け終了後の確認	38
維持・管理/異常・故障時の対応/アフターサービスについて/譲渡・廃却について	39
エアフィルタの交換方法について	40

用語の説明

専門業者	: 車両整備技術、及び設備を備えている整備工場・ショップ
設備内容	: ピット、ジャッキ、溶接機、整備工具、整備要領書
コードNo.	: HKS製品及び部品を注文する際に使用する番号
ユーザマニュアル	: お車の購入時についてくる車両の取扱説明書
点検・整備	: 本製品と自動車全体を安全に運転するために機能・性能を確認し不具合部位修理・調整すること
日常点検	: 自動車を運行する人が、一日一回運行前に行なう点検 ※日常点検及び点検項目は、ユーザマニュアルに従って作業を行なってください
ノーマル車両	: 車両購入時の状態 アフターパーツを取付けていない車両 事故を起こしたことの無い車両
メーカー	: 車両の製造業者
誤使用	: 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用
P#	: P#はパーツリストに記載されているパーツの番号
Ⓜ	: キット取付け時、及びノーマルパーツ取付け時に再使用する
ASSY	: アセンブリの略
IC	: インタークーラの略
PS	: パワーステアリングの略

改訂記録

改訂No.	日付	記載変更内容
3-1.01	2023/10	初版

はじめに

この度は HKS ADVANCED HERITAGE CFRP INTAKE SYSTEM をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

取付けは必ず専門業者に依頼し、取付け終了後は本書記載内容を守り、安全に使用してください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害について、当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内モデル ノーマル車両、HKS 製品取付け車両への取付けを基準に開発されています。
適合車両以外に取付けた場合、本製品の機能、性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本書は予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

警告、注意マークの説明

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負うおそれがある場合



注意

作業員又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損)、拡大物損*の発生が想定される場合(*拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車両の破損及び焼損))

お使いいただく前に

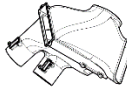
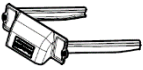
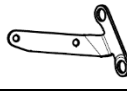

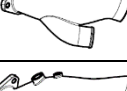
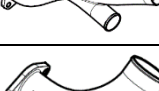


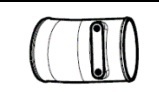



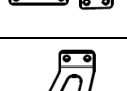
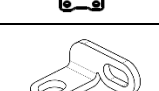





- 事故などによるフレームの変形やエンジンマウントなどの経年劣化などの有る車両には、本製品が取付け出来ない場合があります。本取付けの前に本製品の仮合わせをしてください。
- 各パイプ部品の接続部が合わない場合は、エキゾーストマニホールドやターボチャージャー及びコンプレッサーハウジングなどの取付け状態の調整が必要になる場合があります。
- 本製品は専用エアフロセンサを使用するため、エンジン制御の再適合が必要となります。
- 本製品は製造の都合上、商品表面に小傷やカーボン織目の一定でない箇所が存在する場合があります。
- あらかじめ本製品の内容物がパーツリスト記載内容と差異がないことを確認してください。
- 各作業は必ずメーカー発行の整備要領書(A006020、A006021)及び本書に準じて作業を行ってください。
- 締結部品の締付けは適切な工具を使用し既定のトルクにて確実に締付けてください。
- 一時的に取外すノーマルパーツは破損又は紛失しないよう保管し、間違えて取付けないようにマーキングしてください。


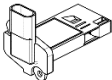







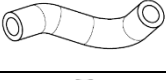

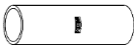




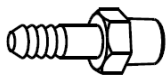
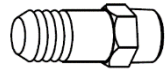
























警告











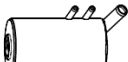





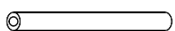



- ✓ 車両をジャッキアップする場合には、車載ジャッキの使用は絶対に行わないでください。
- ✓ 必ず自動車用リフトまたはガレージジャッキとリジッドトラックを使用してください。
 - 車載ジャッキを使用すると車体が不安定となり、車両が落下してケガまたは最悪の場合死亡する恐れがあります。

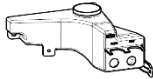


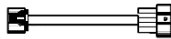
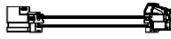
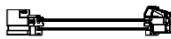






パーツリスト

連番	品名	数量	形状	備考
P1	エアインダクションボックス	1		CFRP製
P2	インダクションボックスリッド	1		CFRP製
P3	インダクションボックスブラケットF	1		CFRP製、フロント側
P4	インダクションボックスブラケットR	1		CFRP製、リヤ側
P5	サクションパイプF	1		CFRP製、フロント側
P6	サクションパイプR	1		CFRP製、リヤ側
P7	チャンバパイプF	1		CFRP製、フロント側△マーク
P8	チャンバパイプR	1		CFRP製、リヤ側
P9	チャンバパイプ集合部	1		CFRP製、 集合部φ60×2⇒φ80
P10	インタークーラインレットパイプA	1		CFRP製
P11	インタークーラインレットパイプB	1		CFRP製 △マーク
P12	リサキュレーションパイプ集合部	1		CFRP製、φ50⇒φ38.1×2
P13	リサキュレーションパイプ	1		CFRP製
P14	インタークーラインレット パイプブラケット	1		スチール製
P15	リサキュレーションパイプ ブラケット	1		スチール製
P16	エアパイプブラケットF	1		スチール製
P17	エアパイプブラケットR	1		スチール製
P18	エアダクトインシュレータA	1		ゴム製、フロント側
P19	エアダクトインシュレータB	1		ゴム製、フェンダー側

連番	品名	数量	形状	備考
P20	エアフィルタ	1		※交換用フィルタ 品番:70017-AK104
P21	エアフロセンサ	2		
P22	ガスケットA	2		サクシオンパイプ用ガスケット
P23	ガスケットB	2		チャンバパイプ用ガスケット
P24	φ4.0ホース	1		長さ700mm
P25	φ6.3ホース	1		長さ2000mm、カットして使用
P26	φ8.0ホース	1		長さ500mm
P27	メッシュホースφ10	1		長さ1000mm、カットして使用
P28	耐油ホースφ16	1		長さ300mm、カットして使用
P29	PSタンクフィードホース	1		成型ホース
P30	シリコンホースφ38 L=60	1		内径38mm、長さ60mm
P31	シリコンホースφ38 L=150	1		内径38mm、長さ150mm
P32	シリコンホースφ50	1		内径50mm、長さ70mm
P33	シリコンホースφ60	2		内径60mm、長さ70mm
P34	シリコンホースφ80	3		内径80mm、長さ55mm
P35	シリコンホースφ80	2		内径80mm、長さ80mm
P36	ホースニップルφ6	1		PT 1/8
P37	ホースニップルφ16	1		PT 3/8
P38	ジョイントパイプφ6	1		キャニスタ配管用
P39	ジョイントパイプφ16	1		ブローバイ用

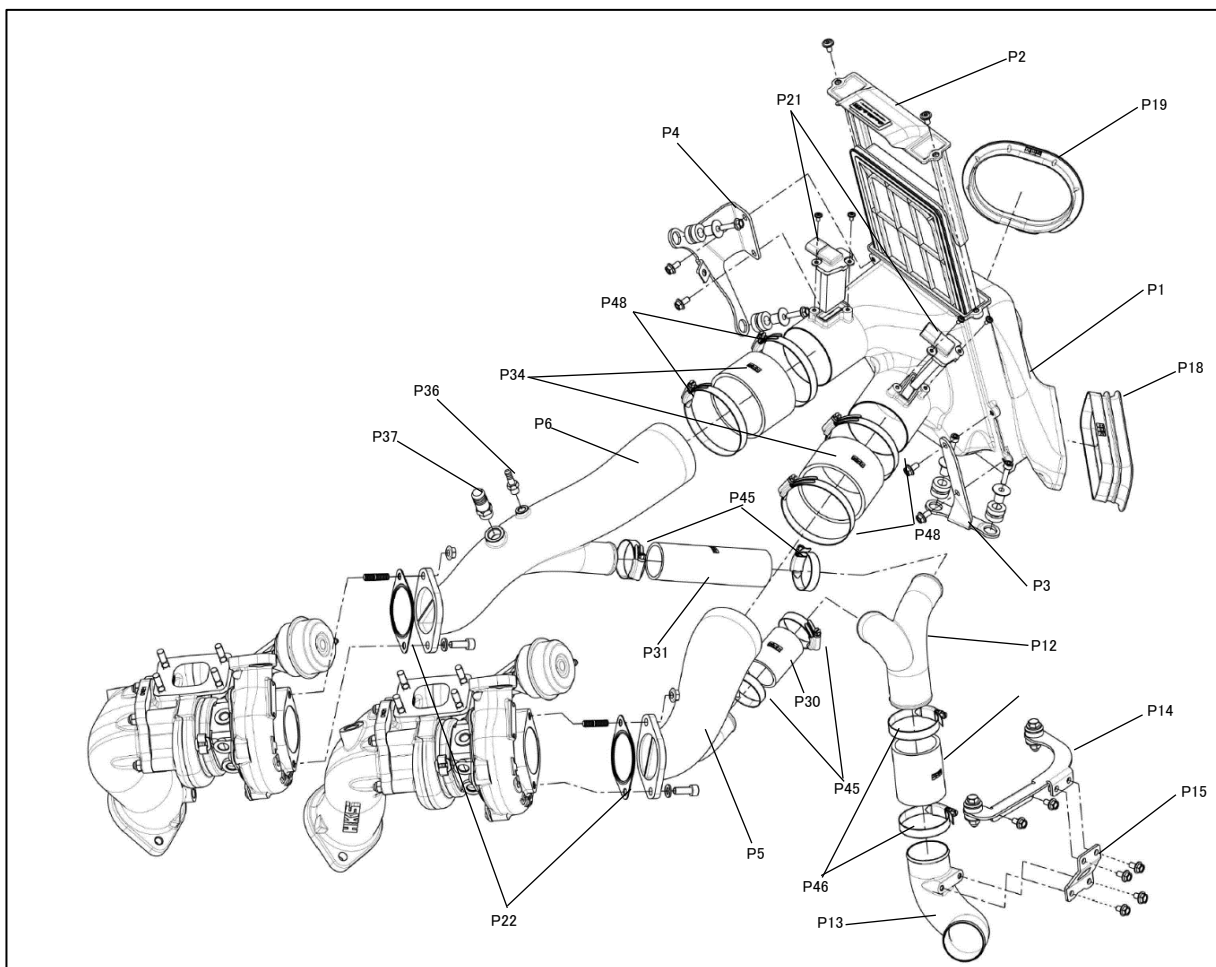
連番	品名	数量	形状	備考
P40	ホースクランプφ6	9		キャニスタ配管用
P41	ホースクランプφ8	1		キャニスタ エアパーズホース用
P42	ホースクランプφ16	2		ブローバイホース用
P43	ホースクランプφ20	2		パワーステアリングフィードホース用
P44	ランプバンド#4	7		メッシュホースφ10用
P45	ホースバンド 32-50	4		φ38ホース用
P46	ホースバンド 50-65	2		φ50ホース用
P47	ホースバンド 58-75	4		φ60ホース用
P48	ホースバンド 77-95	10		φ80ホース用
P49	グロメットA	1		ウォッシュータンク用
P50	グロメットB	6		ブラケット用防振ゴム
P51	カラーM8	2		インレットパイプ ブラケット用M8カラー
P52	カラーM6	4		インダクションボックス ブラケット用M6カラー
P53	スプリングワッシャM8	6		インタークーラインレットパイプブラケット、 チャンバ
P54	平ワッシャφ15.5	6		インタークーラインレットパイプブラケット、 チャンバ
P55	ワッシャφ18	2		グロメット用
P56	ワッシャφ22	2		グロメット用
P57	スタッドボルトM8	2		M8×1.25
P58	フランジナットM6	3		M6×1.0
P59	フランジナットM8	4		M8×1.25 サクシオン、チャンバ

連番	品名	数量	形状	備考
P60	ナットM8	2		M8x1.25 グロメット用
P61	フランジボルトM6 L=12	2		M6×1.0、ボックスリッド用
P62	フランジボルトM4 L=8	4		M4×0.7、エアフロ用
P63	フランジボルトM6 L=10	10		M6×1.0
P64	フランジボルトM6 L=12	11		M6×1.0
P65	フランジボルトM6 L=25	2		M6×1.0、グロメット用
P66	キャップボルトM6 L=25	2		M6×1.0、グロメット用
P67	キャップボルトM8 L=22	2		M8X1.25、サクシオン
P68	ボルトM8 L=25	2		M8×1.25、チャンバ
P69	ボルトM8 L=35	4		M8×1.25、 グロメット、チャンバ
P70	パワーステアリングフルード用タンク(PSタンク)	1		
P71	フィルタφ10	2		パワーステアリングフルード配管 メッシュホースφ10用
P72	キャニスタタンク	1		
P73	キャニスタブラケットA	1		
P74	キャニスタブラケットB	1		
P75	巻き付け編組チューブ	1		長さ140mm、純正ハーネス保護用
P76	耐熱スポンジチューブ	1		長さ400mm
P77	パイプクランプA	1		両側φ7.0
P78	パイプクランプB	1		φ7.0×φ13.0
P79	パイプクランプC	2		両側φ13.0

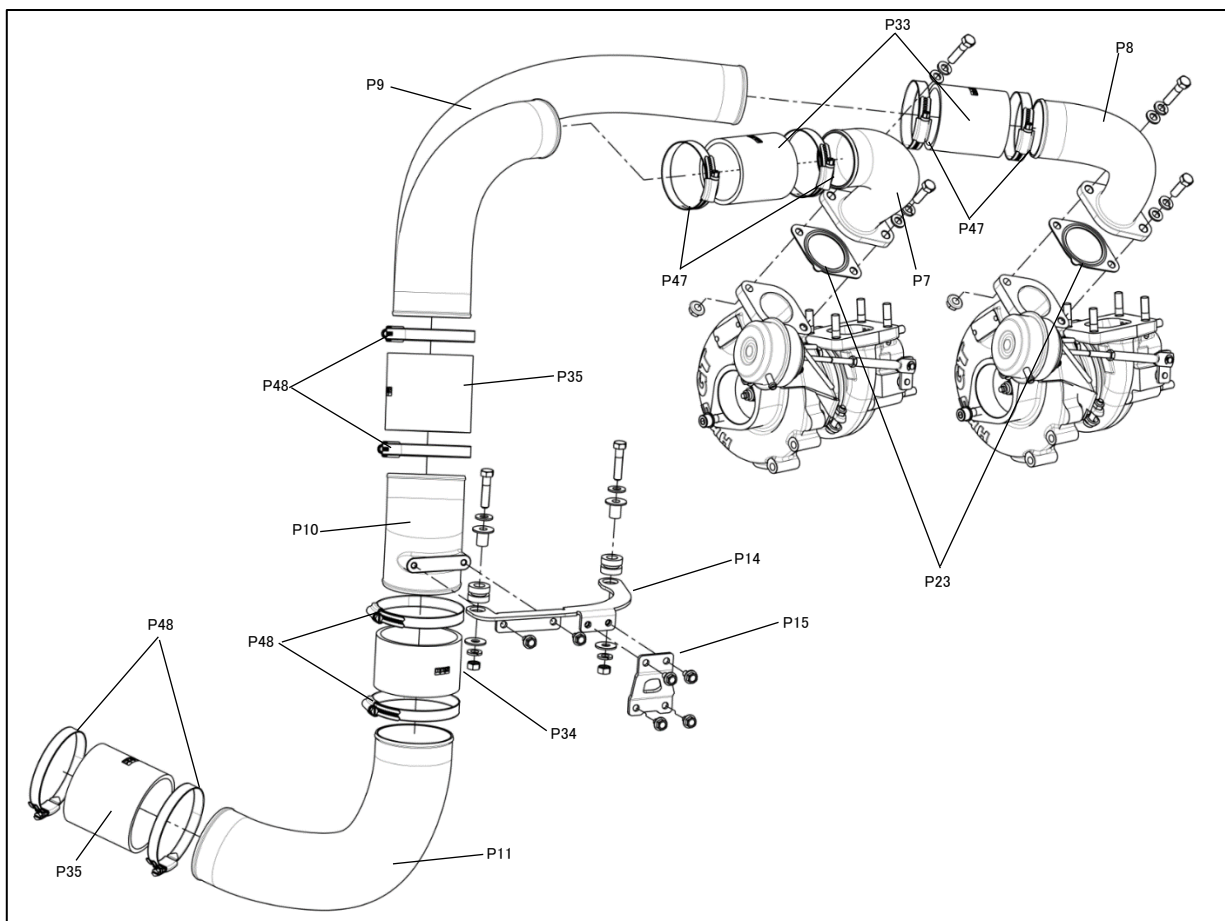
連番	品名	数量	形状	備考
P80	ウォッシュタンクアセンブリ	1		
P81	パッキン	2		ウォッシュポンプ用パッキン
P82	PSタンク延長ハーネス	1		
P83	エアフロ変換ハーネス	2		
P84	ウォッシュポンプ延長ハーネスF	1		灰色、フロント用
P85	ウォッシュポンプ延長ハーネスR	1		緑色、リヤ用
P86	ファーツリーマウント付きタイM6	2		延長ハーネス固定用
P87	ファーツリーマウント	1		延長ハーネス固定用
P88	タイラップ(中)	10		
P89	サーモシール	1		300×300 カットして使用
P90	製品説明書(日本語)	1		
P91	製品説明書(英語)	1		

※構成部品に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店までお願い致します。

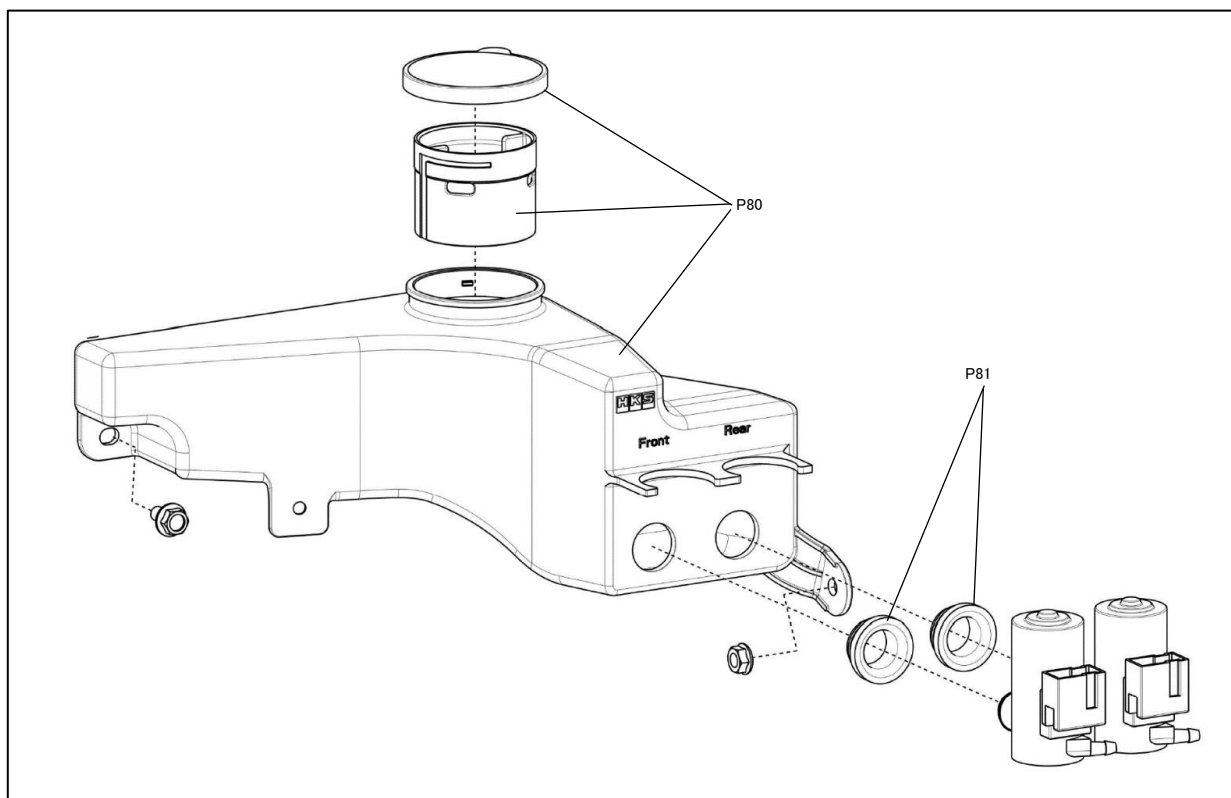
概要図 1(ターボインレット系統)



概要図 2(ターボアウトレット系統)



概要図 3(ウォッシュタンクアセンブリ)



概要図 4(CFRP INTAKE SYSTEM)



1. ノーマルパーツの取外し

各作業は必ずメーカー発行の整備要領書 (A006020、A006021) 及び本書に準じて作業を行ってください。

作業を始める前に、バッテリーのマイナス端子を取外してください。

⚠ 警告

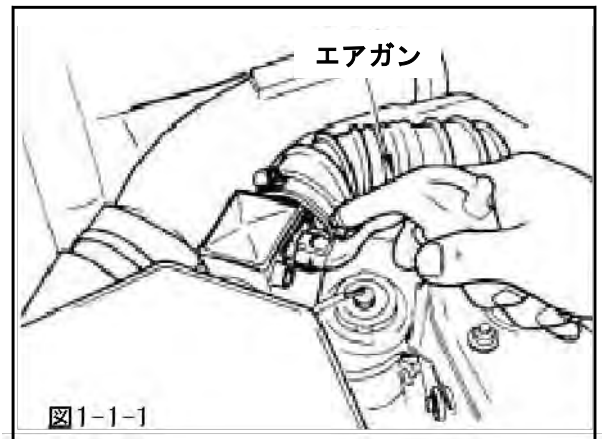
- ✓ バッテリーのマイナス端子のターミナルを取外してから作業を行ってください。
- ✓ コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。
 - 電気ショートによる電装部品の破損及び焼損、火災の恐れがあります。

⚠ 注意

- ✓ 作業を始める前にエンジンルーム内の温度が十分に冷えていることを確認してください。
 - エンジン停止直後に作業を行うと火傷を負う恐れがあります。
- ✓ 配管内に異物が入らないようにウエス等をかけてください。
 - 異物がエンジン内部に入りエンジンが破損する恐れがあります。

1-1. エアクリーナの取外し

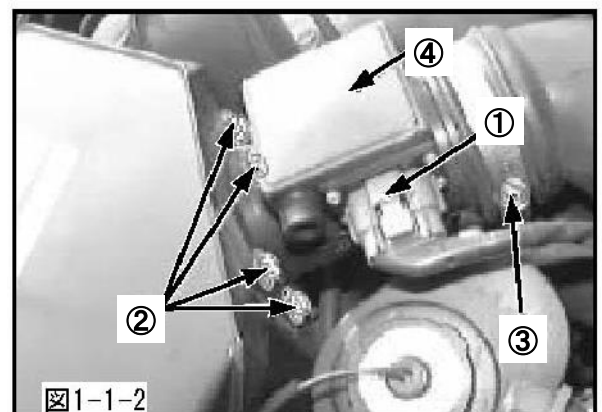
- (1) ノーマルパーツを取外す前に、ゴミ、ほこり等をエアガンで充分除去してください。(図 1-1-1)



- (2) ①を取外してください。(図 1-1-2)

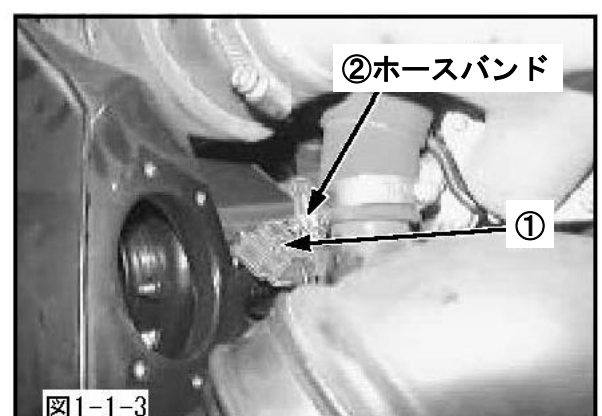
- (3) ②(4本)を取外してください。(図 1-1-2)

- (4) ③をゆるめ、④を取外してください。(図 1-1-2)



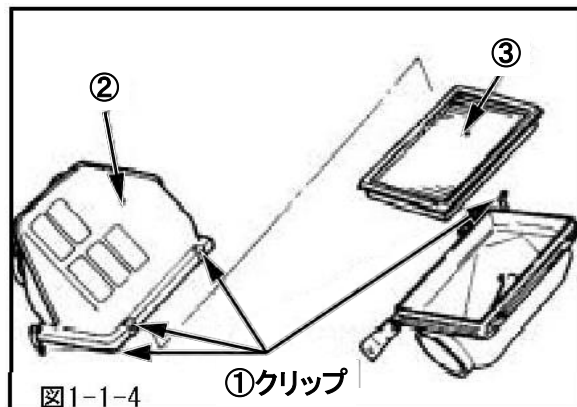
- (5) ①を取外してください。(図 1-1-3)

- (6) ②をゆるめてください。(図 1-1-3)



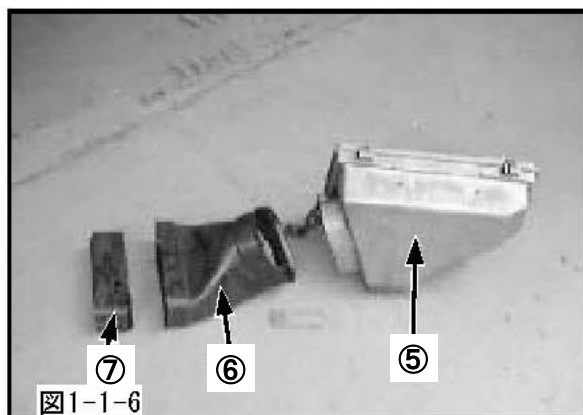
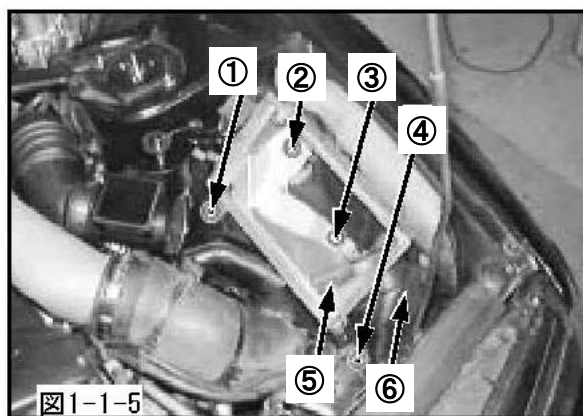
(7) ①クリップ(4箇所)を取外し、②と③を取外してください。

(図 1-1-4)

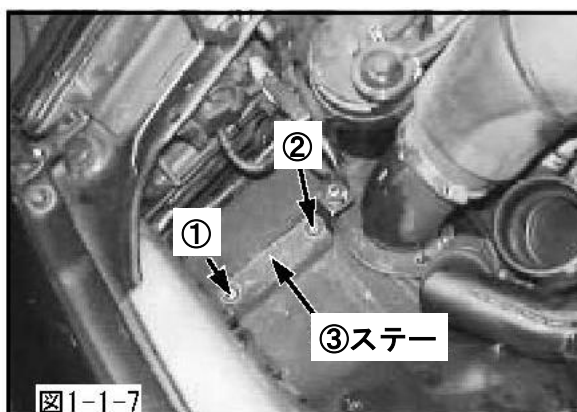


(8) ①～④を取外し、⑤～⑦を取外してください。

(図 1-1-5 図 1-1-6)

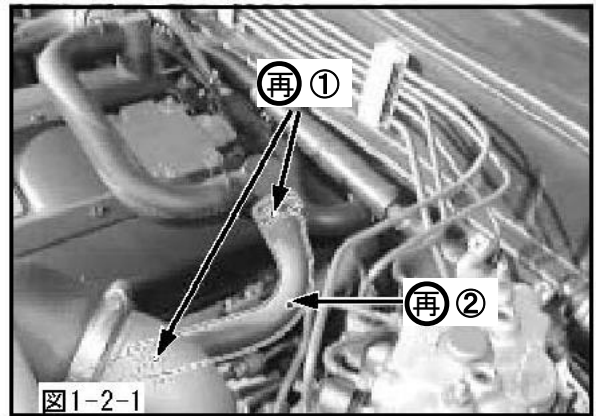


(9) ①と②を取外し、③を取外してください。(図1-1-7)



1-2. ブローバイホースの取外し

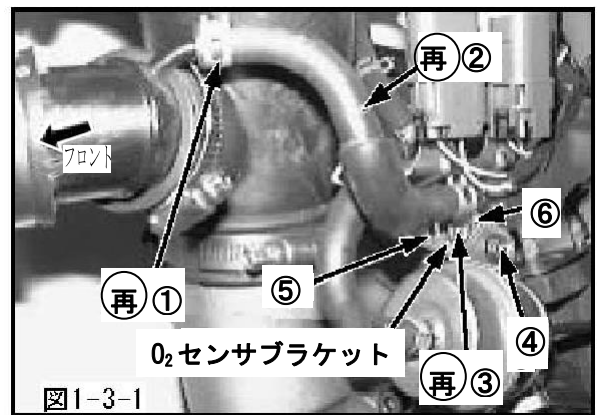
(1) ①(2個)をゆるめ、②を取外してください。(図1-2-1)



1-3. エアホース、O₂センサブラケットの取外し

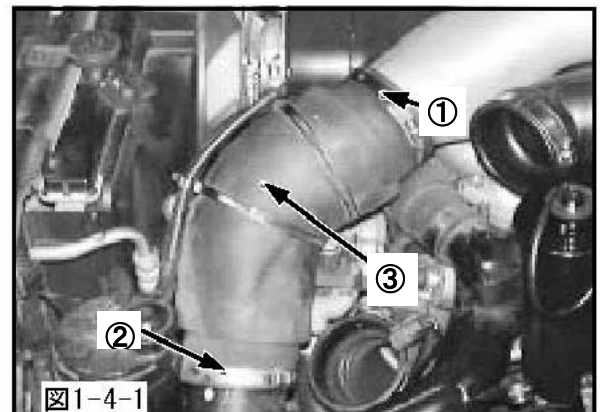
(1) ①をゆるめ、②を取外してください。(図 1-3-1)

(2) ③ ④を取外し、⑤ ⑥を取外してください。(図 1-3-1)



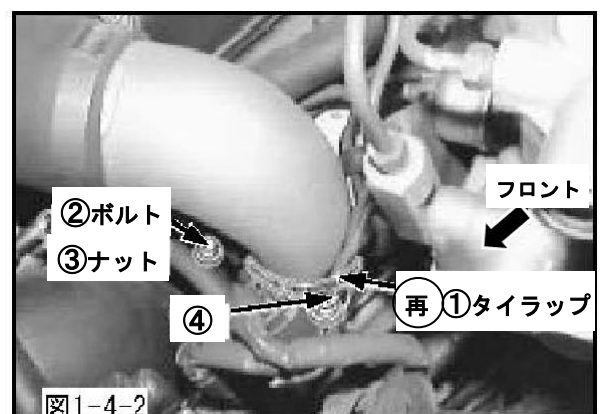
1-4. チャンバホースの取外し

(1) ① ②をゆるめ、③を取外してください。(図1-4-1)

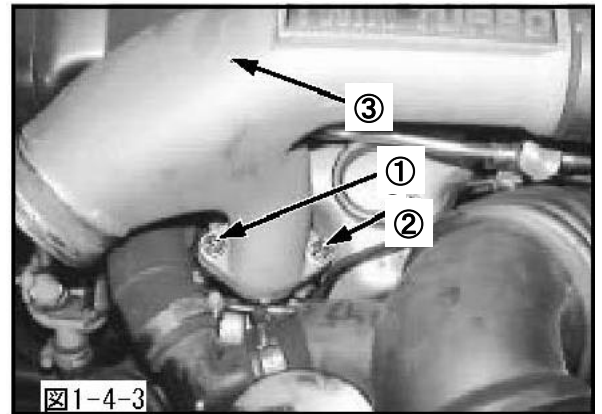


(2) ①タイラップを取外してください。(図1-4-2)

(3) ②~④を取外してください。(図1-4-2)

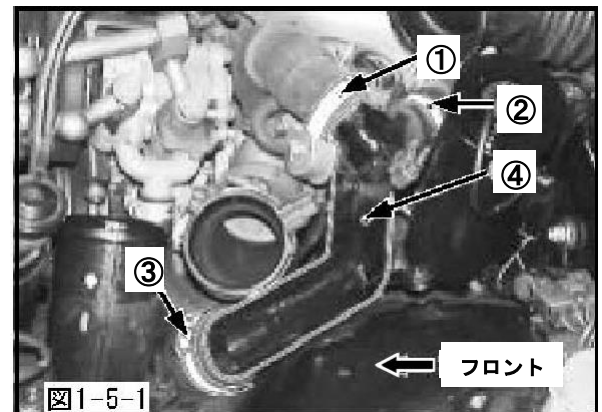


(4) ①、②を取外し、③を取外してください。(図1-4-3)

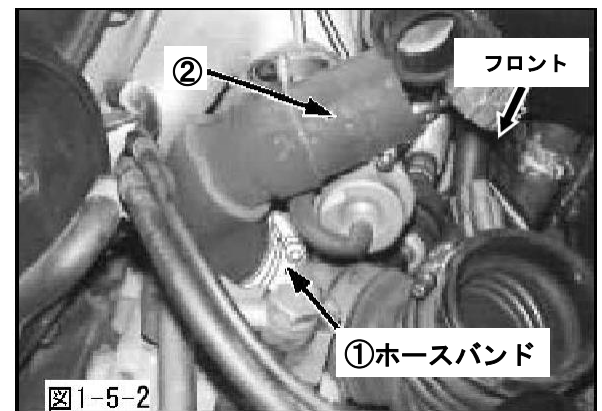


1-5. リサキュレーションパイプの取外し

(1) ①～③をゆるめ、④を取外してください。(図1-5-1)



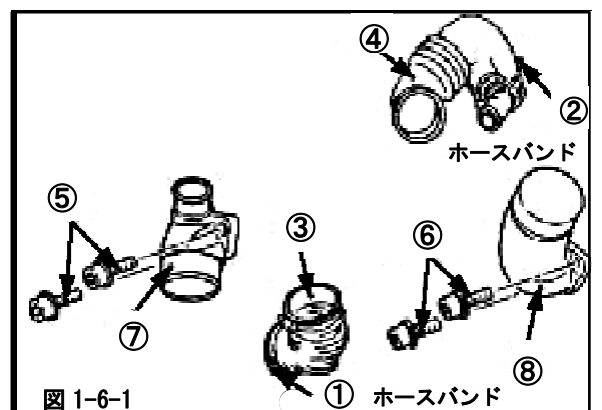
(2) ①をゆるめ、②を取外してください。(図1-5-2)



1-6. サクションパイプの取外し

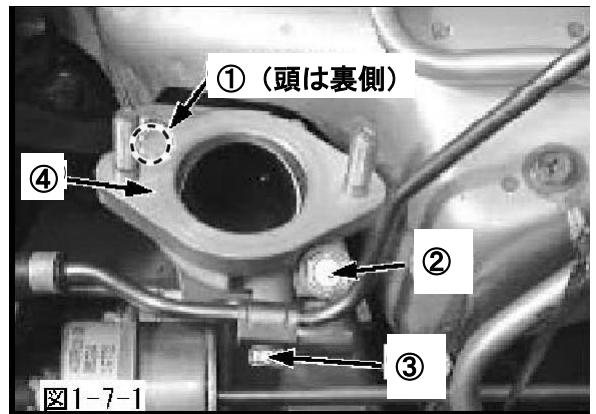
(1) ①、②をゆるめ、③ ④を取外してください。(図1-6-1)

(2) ⑤、⑥(各2本)を取外し、⑦ ⑧を取外してください。(図1-6-1)



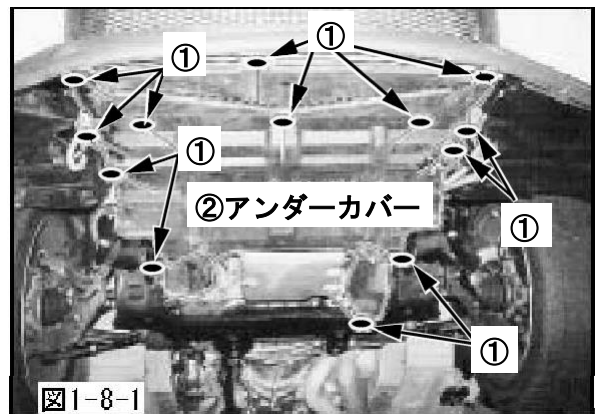
1-7. アウトレットチューブの取外し

(1) ①～③を取外し、④を取外してください。(図1-7-1)



1-8. アンダーカバーの取外し

(1) ①(13本)を取外し、②を取外してください。(図1-8-1)

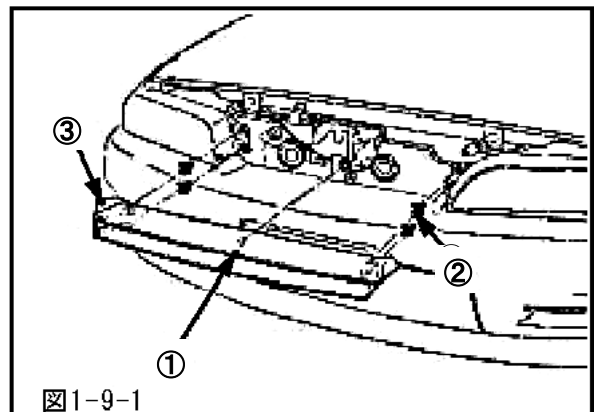


1-9. フロントグリルの取外し

(1) ①と②(4個)を取外し、③を取外してください。(図1-9-1)

参考

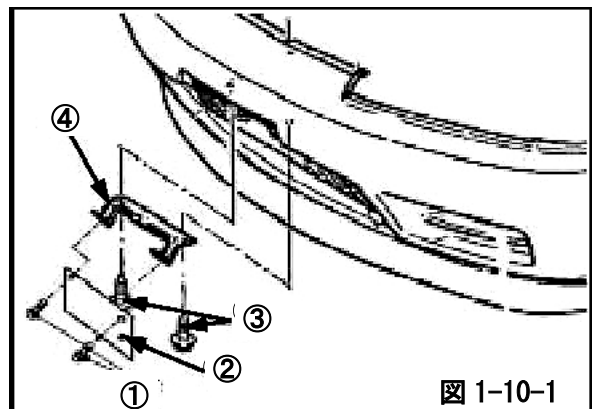
・整備要領書A006020. D-5



1-10. ナンバープレートの取外し

(1) ①(2本)を取外し、②を取外してください。(図1-10-1)

(2) ③(2本)を取外し、④を取外してください。(図1-10-1)

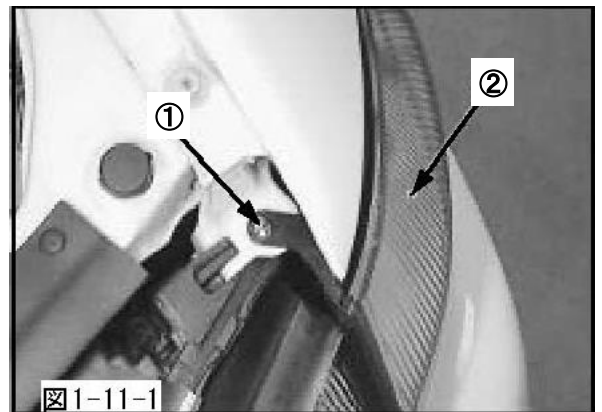


1-11. フロントコンビネーションランプの取外し

※1-11、1-12 の説明について、運転席側も同様の作業を行ってください。

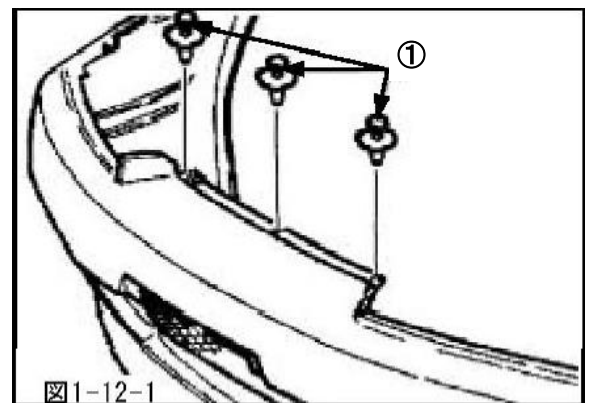
(1) ①を取外してください。(図 1-11-1)

(2) コネクタを取外し、②を取外してください。(図 1-11-1)

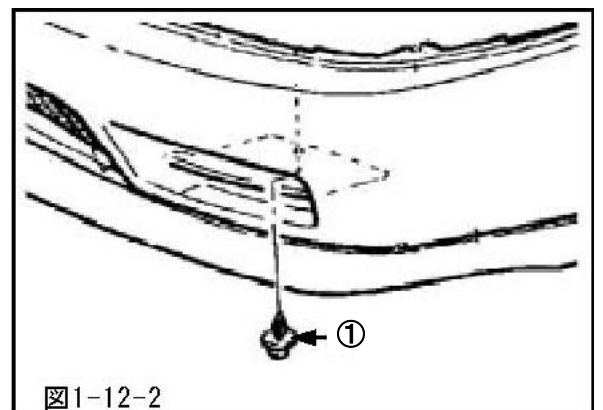


1-12. バンパフェーシアの取外し

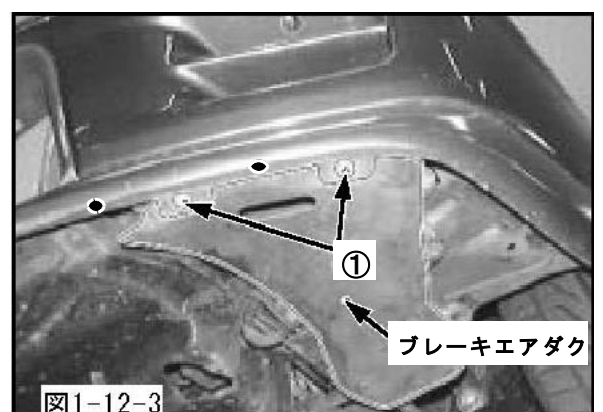
(1) ①(3本)を取外してください。(図 1-12-1)



(2) ①を取外してください。(図 1-12-2)



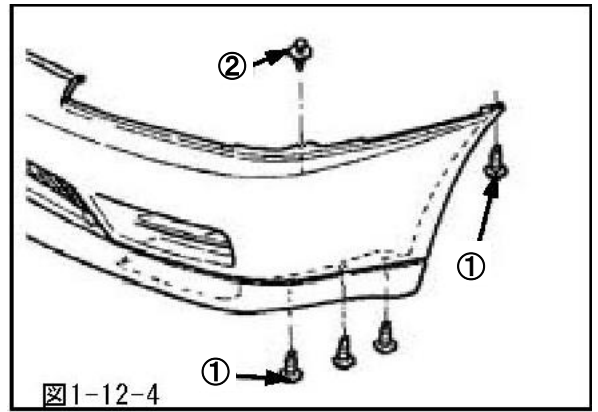
(3) ①(2本)を取外してください。(図 1-12-3)



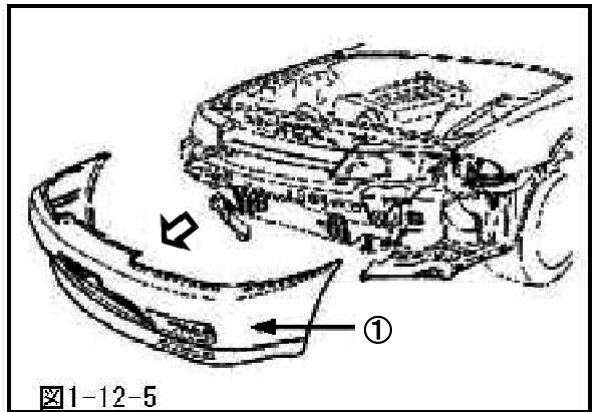
(4) ①(4本)を取外してください。

②を取外してください。

(図 1-12-4)



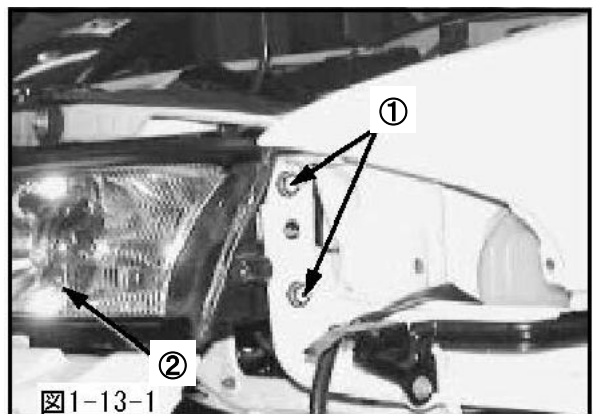
(5) ①を取外してください。(図 1-12-5)



1-13. ヘッドランプの取外し

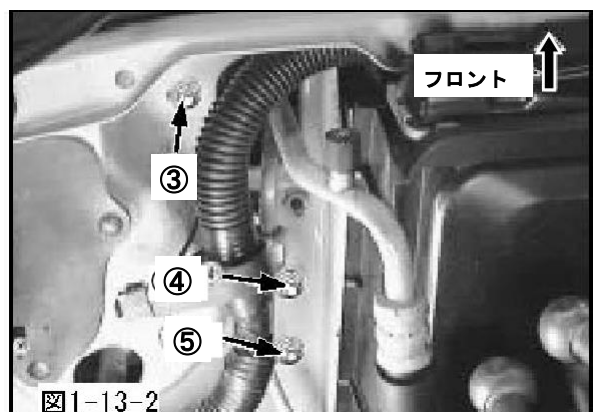
※1-13 の作業は助手席側のみ行ってください。

(1) ①(2本)を取外してください。(図 1-13-1)



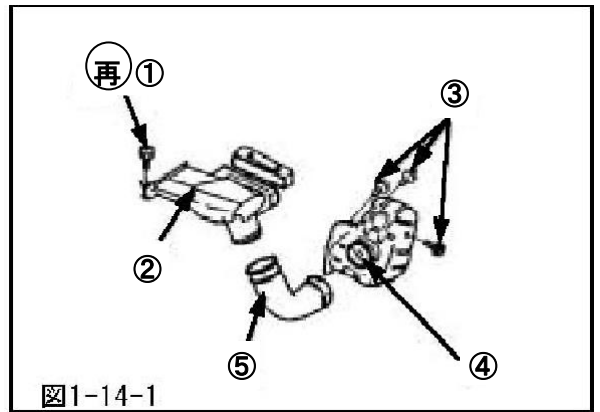
(2) ③~⑤を取外してください。(図 1-13-2)

(3) コネクタを取外し、②を取外してください。(図 1-13-1、図 1-13-2)

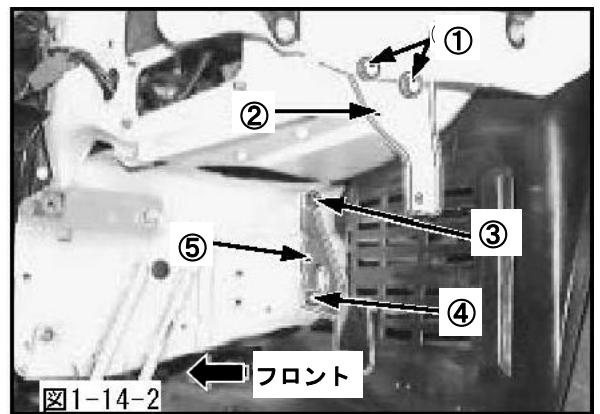


1-14. レゾネータの取外し

- (1) ①を取外し、②を取外してください。(図 1-14-1)
- (2) ③(3本)を取外し、④ ⑤を取外してください。(図 1-14-1)
- (3) ①を元の位置に取付けてください。(図 1-14-1)

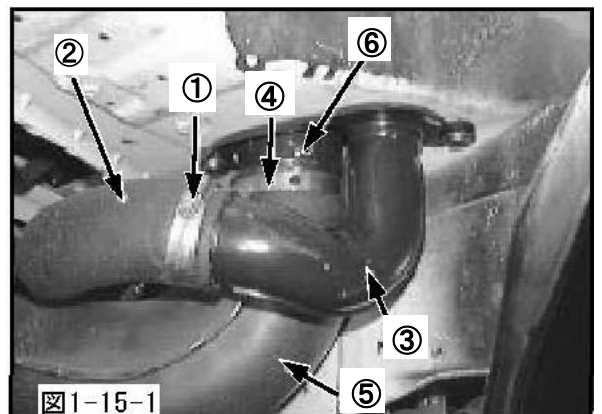


- (4) ①(2本)を取外し、②を取外してください。(図 1-14-2)
- (5) ③、④を取外し、⑤を取外してください。(図 1-14-2)
(図 1-14-2 は説明のためにインタークーラ、インレットホース、リサキュレーションチューブ等を取外してあります。)

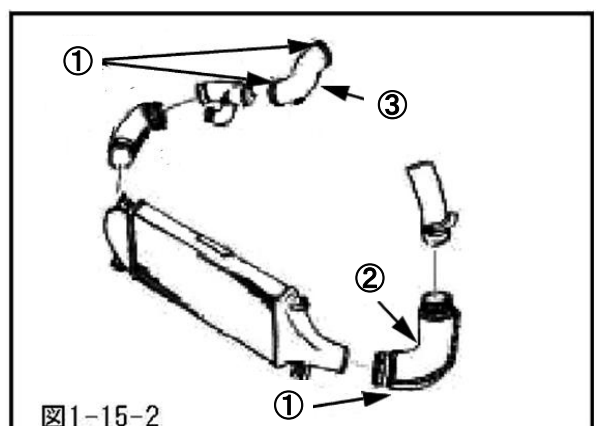


1-15. リサキュレーションパイプ、チャンバパイプの取外し

- (1) ①をゆるめ、②を③から引抜いてください。(図 1-15-1)
- (2) ④をゆるめ、⑤を⑥から引抜いてください。(図 1-15-1)



- (3) ①(3本)をゆるめ、②～③を取外してください。(図 1-15-2)



(4) ①、②を取外し、③を取外してください。(図1-15-3)

(5) ④を取外し、⑤を取外してください。(図 1-15-3)

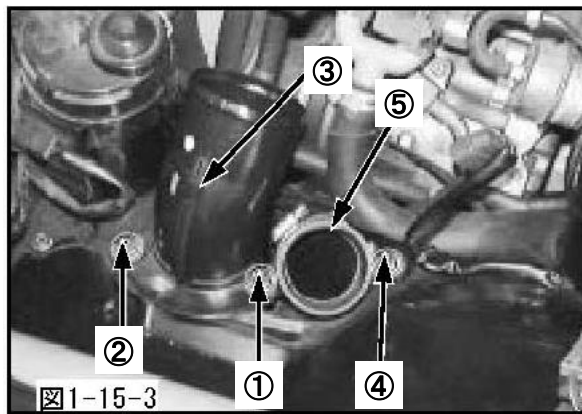


図1-15-3

2. 補器類の取外し

2-1. キャニスタークの取外し

(1) ①(2個)をゆるめ、②を取外してください。(図 2-1-1)

(2) ③を取外してください。(図 2-1-1)

(3) ④(2個)をゆるめ、⑤を取外してください。(図 2-1-1)

(4) ⑥を取外してください。(図 2-1-1)

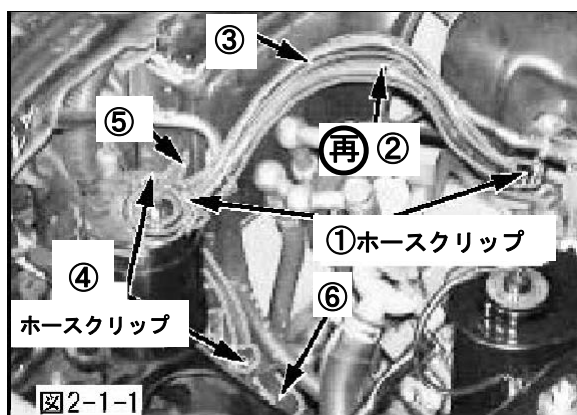


図2-1-1

(5) ①をゆるめ、②を取外してください。(図 2-1-2)

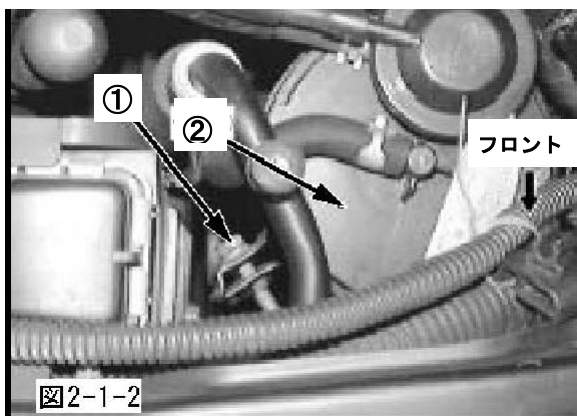


図2-1-2

(6) ①(3本)を取外し、②を取外してください。(図 2-1-3)

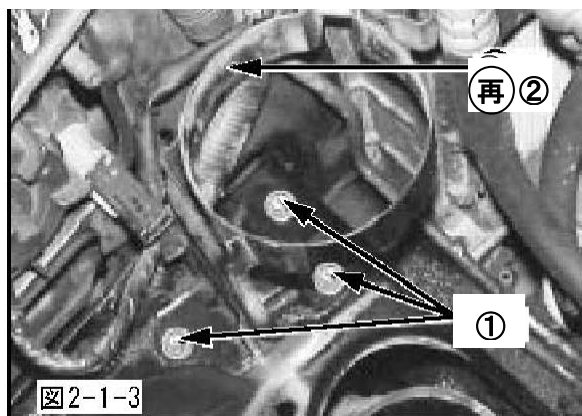


図2-1-3

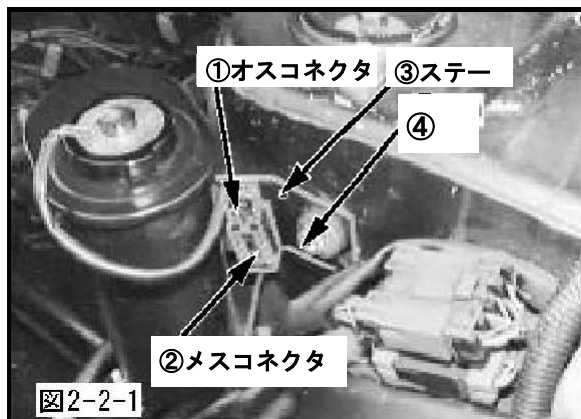
2-2. パワーステアリング(※以降PSと表記)タンクの取外し

(1) スポイト等でPSタンク内のPSフルードを抜取ってください。

(2) ①、②を切り離してください。(図2-2-1)

(3) ②を③から取外してください。(図2-2-1)

(4) ④を取外してください。(図2-2-1)



(5) ①(2本)を取外してください。(図2-2-2)

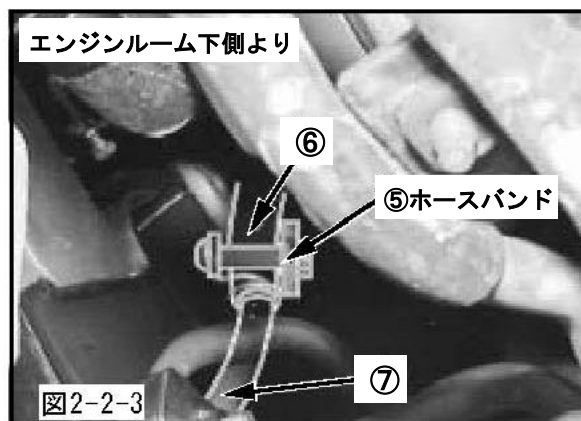
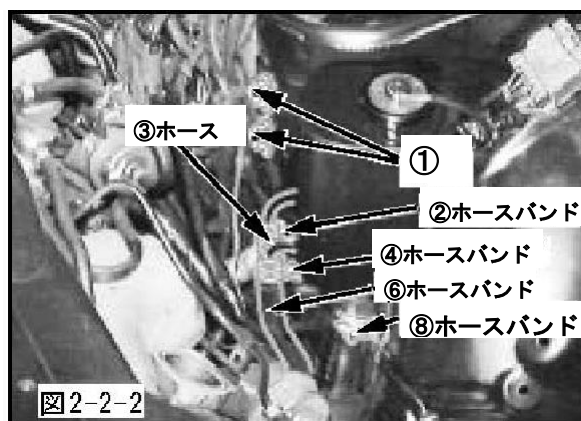
(6) ②をゆるめ、⑥を取外してください。(図2-2-2)

(7) ④、⑤をゆるめ、⑥を取外してください。(図2-2-2、図2-2-3)

アドバイス

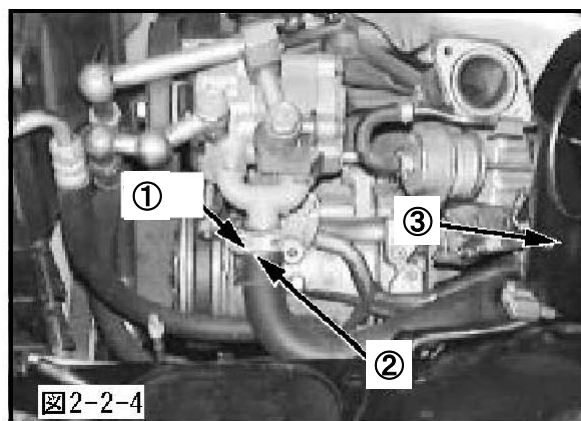
PSフルードが流出するのでウエス等で受けてください。

(8) ⑧をゆるめてください。(図2-2-2)



(9) ①をゆるめ、②を取外し、③を車両から取外してください。

(図2-2-4)



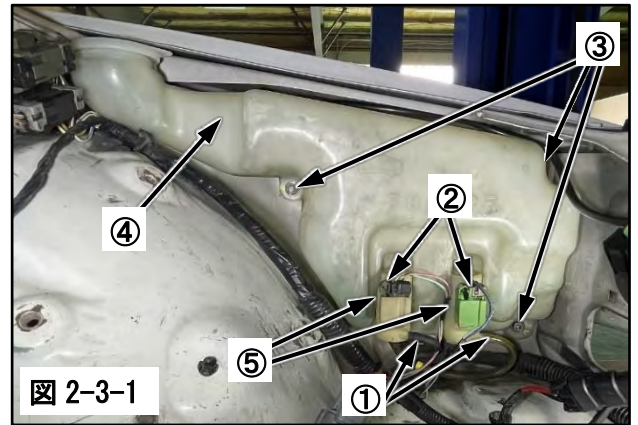
2-3. ウォッシュタンクの取外し

- (1) ウォッシュ液を抜いてください。
- (2) ①ホース(2本)を取外してください。
- (3) ②ポンプハーネスカプラーを取外してください。
- (4) ③(3ヶ所)を緩め、④タンクを取外してください。
- (5) ⑤ポンプ(2個)を取外してください。

(図 2-3-1)

アドバイス

ウォッシュ液が入ったままホースを外すとウォッシュ液が漏れるので注意してください。

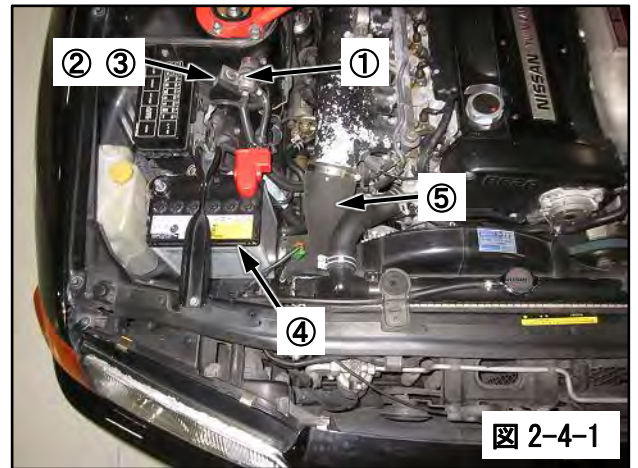


2-4. レジスター・ソレノイドの取外し

- (1) ①過給圧コントロールソレノイドを取外してください。
- (2) ②ドロップングレジスターを③ソレノイドバルブブラケットごと取外してください。
- (3) ④バッテリーを取外してください。
- (4) ⑤エアホースを取外してください。

(図 2-4-1)

- ・バッテリー
- ・過給圧コントロールソレノイドバルブ
- ・ドロップングレジスター



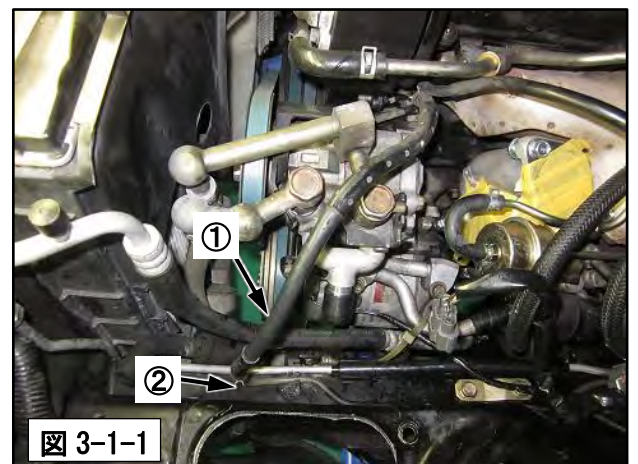
3. 純正配管の変更

3-1. 燃料蒸発(エバポ)ガス配管の変更

- (1) ①純正キャニスタエアパージ用ホースを②燃料蒸発(エバポ)ガス配管に接続してください。(図 3-1-1)
 - ・ホースクリップ $\phi 6$ (P40×2)

アドバイス

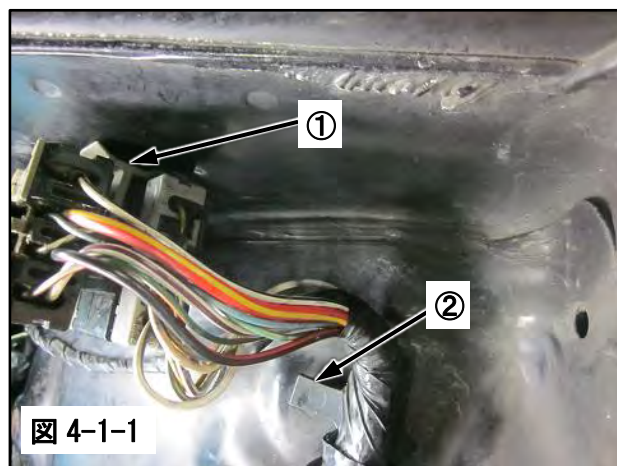
純正キャニスタ配管を利用して、同梱のキャニスタタンク(P72)を運転席側に設置します。ホースクリップが劣化している場合は同梱のホースクリップ(P40)をご使用ください。



4. キットパーツの取付け

4-1. ウォッシャタンクの取付け

- (1) ①②純正ハーネスのクリップを外してハーネスを車両前方に移動してください。(図 4-1-1)

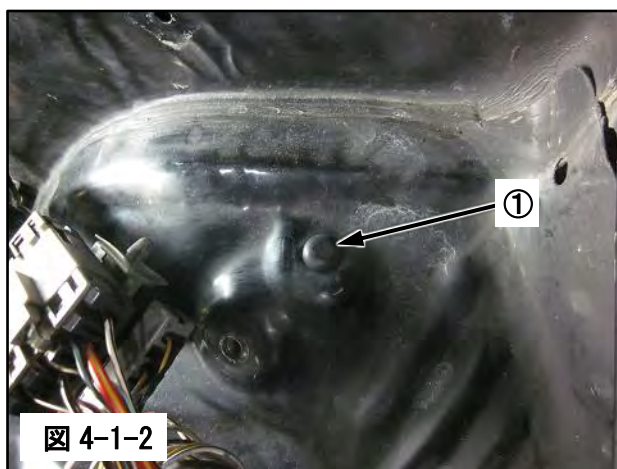


- (2) ①グロメットを取付けてください。(図 4-1-2)

・グロメット A (P49 × 1)

アドバイス

グロメットを付ける位置は図 4-1-1 の②の場所です

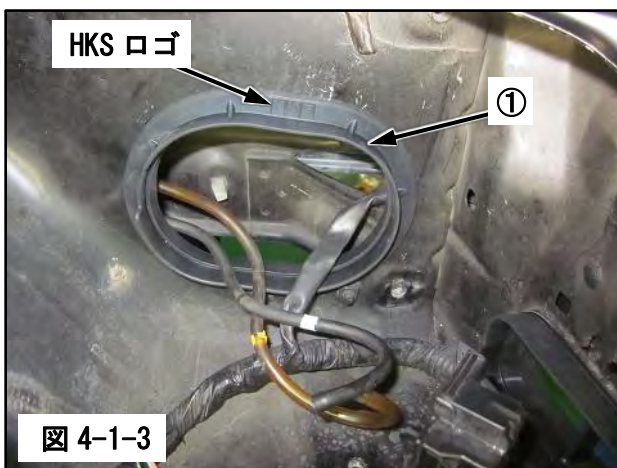


- (3) エアダクトインシュレータ B を取付けてください。(図 4-1-3)

・エアダクトインシュレータ B (P19 × 1)

アドバイス

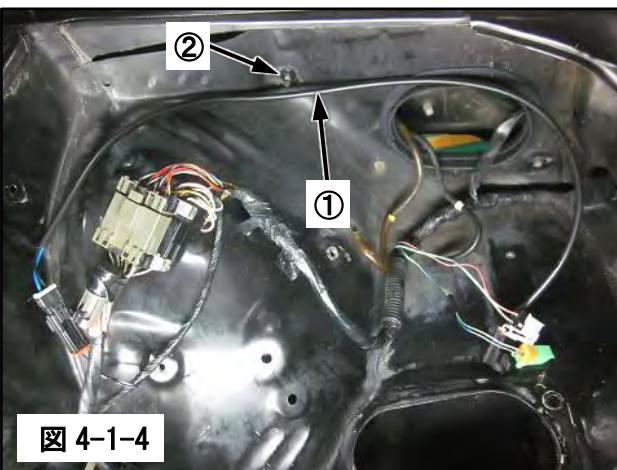
ウォッシャホースはエアダクトインシュレータ B の内側を通してください。ウインカハーネスはクリップを一度取外し、エアダクトインシュレータ B の内側を通してクリップを再度固定してください。エアダクトは HKS ロゴが車体内側のの上側になります。(図 4-1-3)



- (4) ①PS タンク延長ハーネスを接続してください。

延長ハーネスはウォッシャタンク取付け用の②スタッドボルトの下側を通してください。(図 4-1-4)

・PS タンク延長ハーネス (P82 × 1)



- (5) ①ウォッシャタンクに、②パッキンと③ポンプを組み付けてください。

(図 4-1-5)

- ・ウォッシャタンクアセンブリ (P80×1)
- ・パッキン (P81×2)
- ・フロント用ウォッシャポンプ (純正再使用×1)
- ・リヤ用ウォッシャポンプ (純正再使用×1)

概要図3(ウォッシャタンク)参照

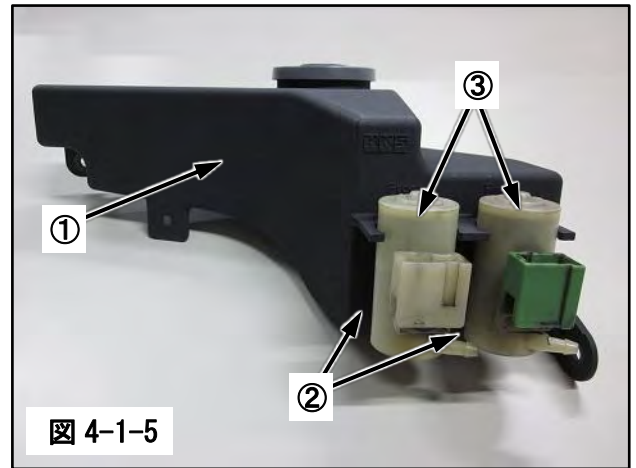


図 4-1-5

- (6) ①ウォッシャタンクを②ボルト(1本)と、③ナット(1個)で取付けてください。(図 4-1-6)

- ・ウォッシャタンク(P80×1)
- ・フランジボルト M6 L=12 (P64×1)
- ・フランジナット M6 (P58×1)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=8.4~10.8 (0.86~1.1)



図 4-1-6

- (7) ①インダクションボックスブラケット R に②グロメット B と③カラー M6 を組付け、④フランジボルトで取付けてください。

ハーネスのクリップを⑤ウォッシャタンクと⑥インダクションボックスブラケット R の位置に取付けてください。

(図 4-1-7)

- ・インダクションボックスブラケット R (P4×1)
- ・グロメット B (P50×2)
- ・カラー M6 (P52×2)
- ・フランジボルト M6 L=25 (P65×2)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=8.4~10.8 (0.86~1.1)

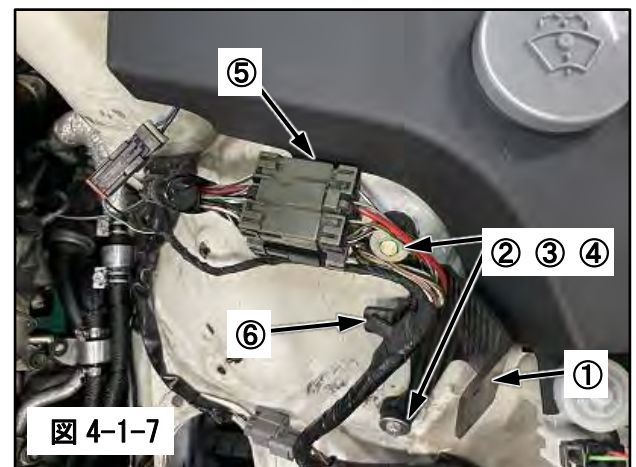


図 4-1-7

- (8) ①ウォッシャホース(2本)をポンプに取付けてください。
②ファーツリーマウント付きタイ M6(2個)と③ファーツリーマウント(1個)と④タイラップ(1本)を取り付けてください。
⑤ウォッシャポンプ延長ハーネス(2本)を接続し、タイラップで固定してください。

(図 4-1-8)

- ・ファーツリーマウント付きタイ M6 (P86×2)
- ・ファーツリーマウント (P87×1)
- ・ウォッシャポンプ延長ハーネス F (P84×1)
- ・ウォッシャポンプ延長ハーネス R (P85×1)
- ・タイラップ中(P89×3)

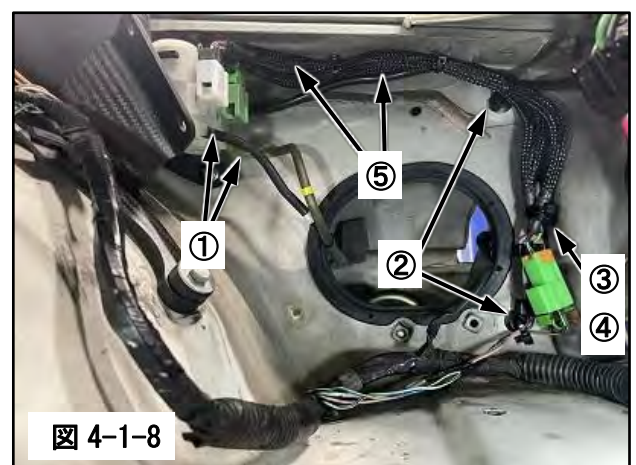


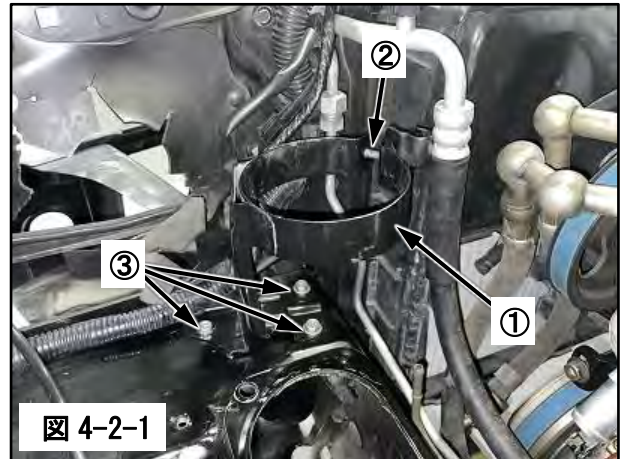
図 4-1-8

4-2. パワーステアリングフルード用タンク(PS タンク)の取付け

- (1) ①キャニスタブラケットのバンド部の②ボルトを取外してください。

①キャニスタブラケットをフロント方向に寄せて、③純正ボルト(3本)で取り付けてください。

(図 4-2-1)



- (2) ①PS タンクのパイプ部をキャニスタブラケットバンド部の隙間を通して装着してください。

②フィードホースを取付けて③クランプ(2個)で固定してください。

③バンド部の固定ボルトを締めて①PS タンク本体を固定してください。

⑤ボルトを取外してください。

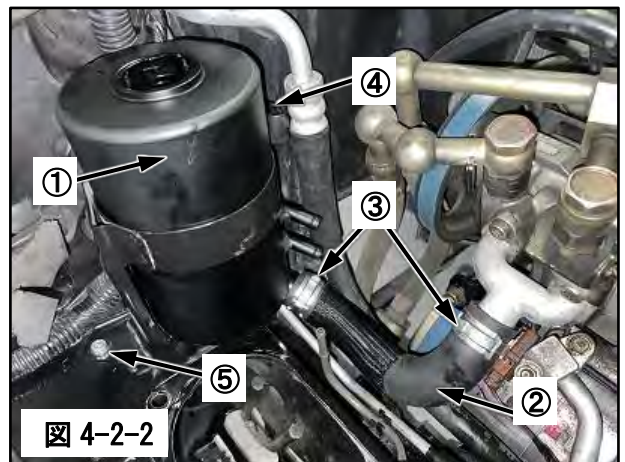
(図 4-2-2)

・キャニスタブラケット(純正再使用×1)

・PS タンク (P70×1)

・フィードホース (P29×1)

・ホースクランプ φ19 (P43×2)



- (3) メッシュホース φ10 を 350mm、280mm、180mm の長さカットしてください。

- (4) ①メッシュホース φ10(180mm)をハイキャスリターンパイプに接続してください。

②フィルタφ10、③メッシュホース(280mm)を接続し、④ホースバンドを締めてください。

(図 4-2-3)

・メッシュホース φ10 280mm (P27 カット)

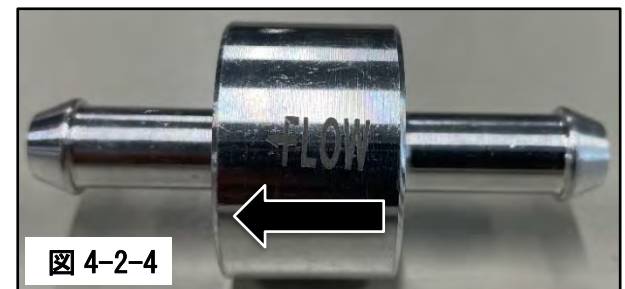
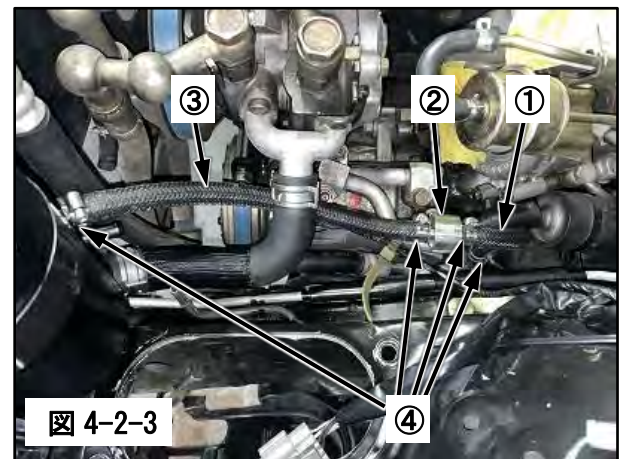
・メッシュホース φ10 180mm (P27 カット)

・フィルタ φ10 (P71×1)

・ホースバンド#4 (P44×4)

アドバイス

φ10 フィルタにはフロー方向があります。(図 4-2-4)



- (5) ①メッシュホース φ10(350mm)をタンクに接続し、もう一方に②φ10 フィルタ取付け③ホースバンド(2個)で固定してください。
②φ10 フィルタとラックからのリターンホースと接続し④純正クランプで固定してください。

(図 4-2-5)

- ・メッシュホース φ10 350mm (P27 カット)
- ・フィルタφ10 (P71×1)
- ・ホースバンド#4 (P44×2)

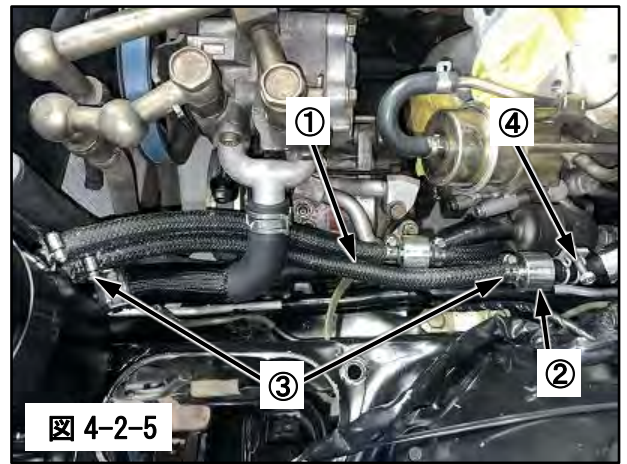


図 4-2-5

- (6) ①タイラップでホース 2 本を束ねてください。(図 4-2-6)

- ・タイラップ中 (P88×2)

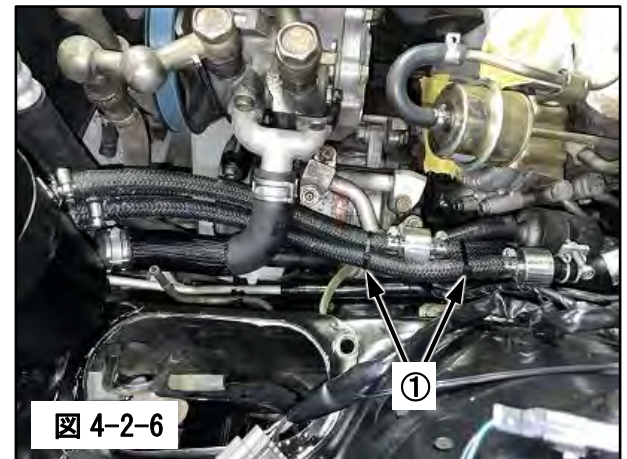


図 4-2-6

- (7) PS タンクに①金属フィルタ(純正再使用)、②センサ付きキャップ(純正再使用)を取付け、③PS タンク延長ハーネスを接続してください。(図 4-2-7)

- ・金属フィルタ(純正再使用×1)
- ・センサ付きキャップ(純正再使用×1)
- ・PS タンク延長ハーネス(P82×1)



図 4-2-7

4-3. キャニスタタンの取付け

純正のキャニスタ配管を利用して同梱のキャニスタタンクを取り付けます。

配管は図 4-3-1 を参考にしてください。

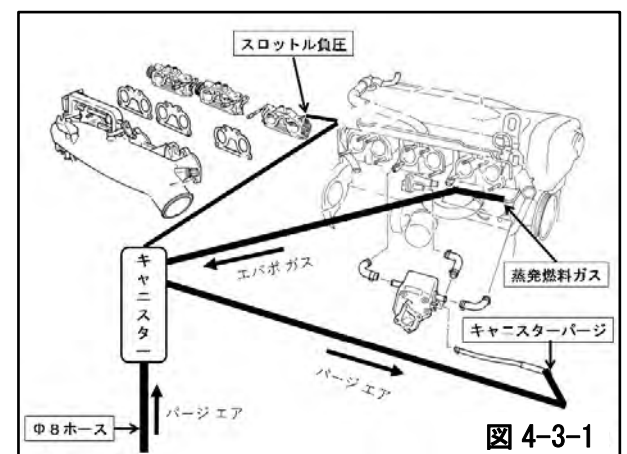


図 4-3-1

- (1) No.1 スロットルチャンバに繋がる①バキュームホースを取外してください。(図 4-3-2)



- (2) ①φ4.0 ホースを接続してください。②③パイプクランプで固定してください。(図 4-3-3)

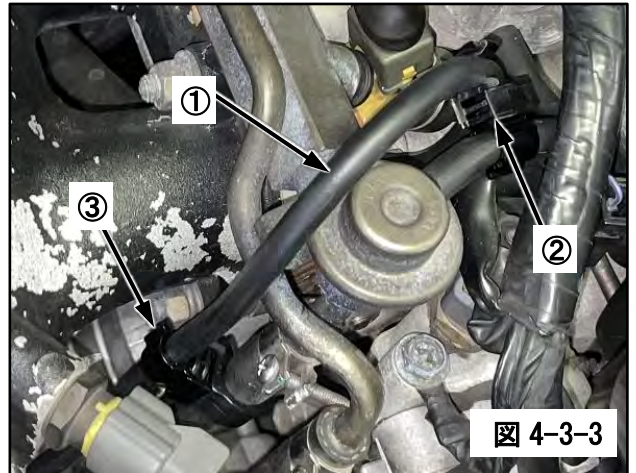
- ・φ4.0 ホース (P24×1)
- ・パイプクランプ A (P77×1)
- ・パイプクランプ B (P78×1)

- (3) φ6.3 ホースを 800mm、600mm の長さにカットしてください。
800mm のホースに接続先が分かる様にホース両端にマーキングをしてください。

- ・φ6.3 ホース (P25×1)

アドバイス

残ったホースは別の部位で使います。



- (4) エアパージ用の①ホースを外し②ジョイントパイプを取付けてください。

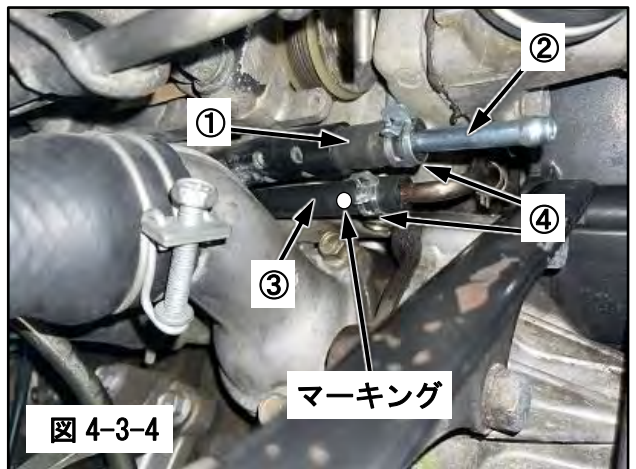
φ6.3 ホース(800mm)をエアパージ配管に取付けて、④クランプ (2個)で固定してください。

(図 4-3-4)

- ・ジョイントパイプ φ6(P38×1)
- ・φ6.3 ホース 800mm ×1
- ・ホースクランプ φ6 (P40×2)

アドバイス

純正のエアパージ配管を燃料蒸発ガス配管として使います。

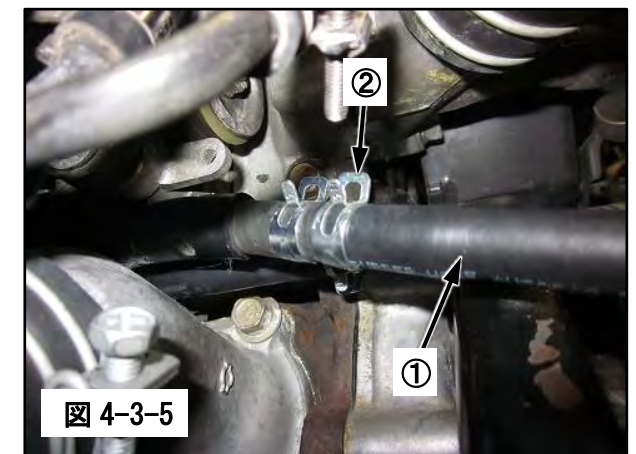


- (5) ジョイントパイプに①ホース φ6.3(600mm)を接続して②クランプで固定してください。(図 4-3-5)

- ・φ6.3 ホース 600mm ×1
- ・ホースクランプ φ6 (P40×1)

アドバイス

図 4-3-2 の②のジョイントパイプと繋がります。



- (6) ①パイプクランプで、ホース(2本)を固定してください。(図 4-3-6)
 ・パイプクランプ C (P79 × 1)

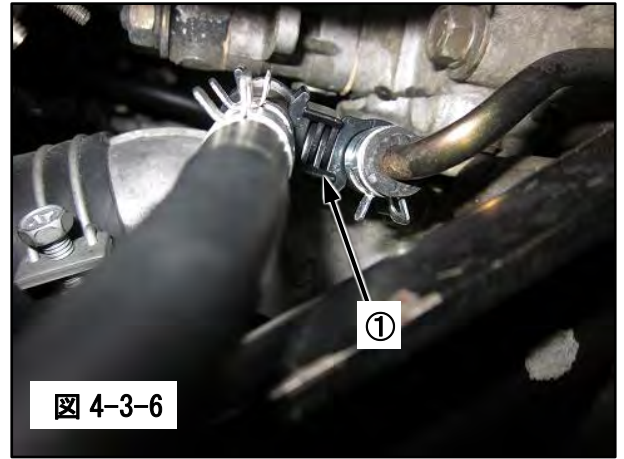


図 4-3-6

- (7) ①プラスチックキャップを取外してください。(図 4-3-7)

アドバイス

ねじ穴は清掃してください。汚れでボルトが入らない場合があります。

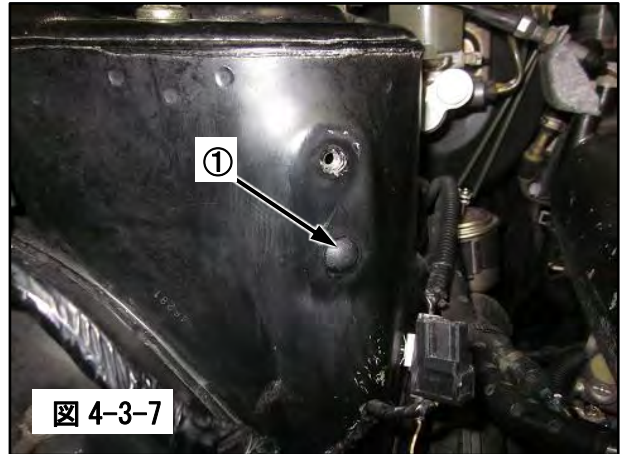


図 4-3-7

- (8) ①キャニスタブラケット A を②ボルト(4本)で取付けてください。
 ③巻き付け編組チューブをハーネスに巻き、④耐熱ビニールテープで固定してください。

(図 4-3-8)

- ・キャニスタブラケット A (P73 × 1)
- ・フランジボルト M6 L=10 (P63 × 4)
- ・巻き付け編組チューブ (P75 × 1)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=8.4~10.8 (0.86~1.1)

アドバイス

編組チューブはブラケットの上下から出る様に取付けてください。

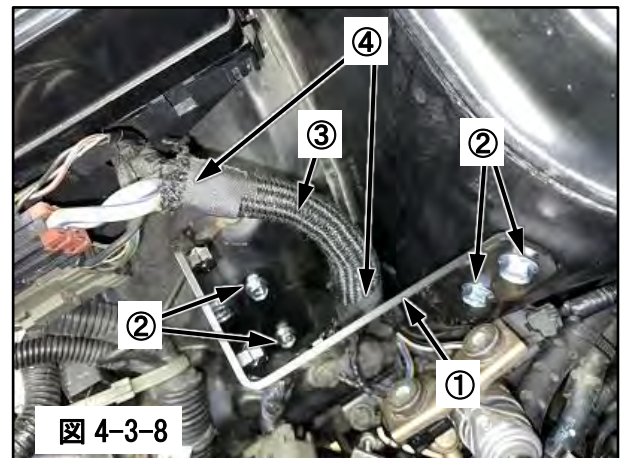


図 4-3-8

- (9) ①キャニスタブラケット A に②キャニスタブラケット B を③ボルト(1本)と④過給圧コントロールバルブを純正ボルトで共締めして取付けてください。

(図 6-3-9)

- ・キャニスタブラケット B (P74 × 1)
- ・過給圧コントロールソレノイドバルブ(再使用 × 1)
- ・フランジボルト M6 L=10 (P63 × 1)
- ・純正ボルト(再使用 × 2)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=8.4~10.8 (0.86~1.1)

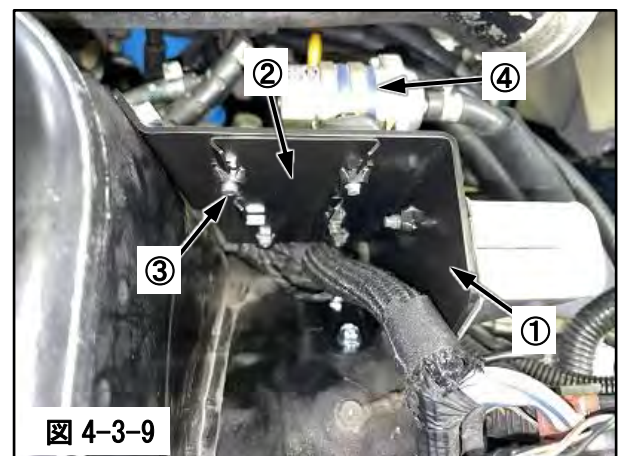
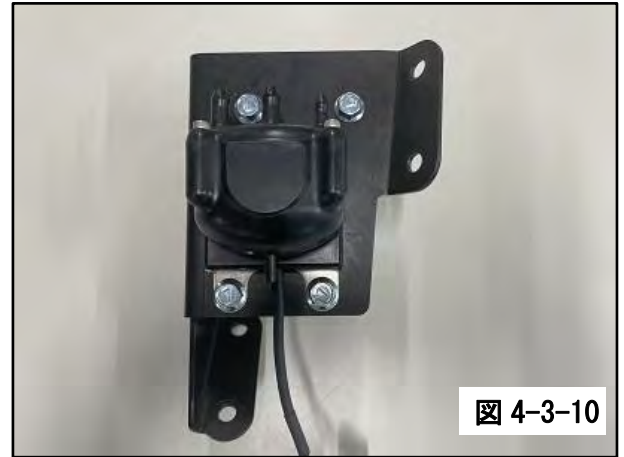


図 4-3-9

アドバイス

別売りの EVC を使用する場合は、キャニスタブラケット A に EVC バルブユニットを取り付けることが可能です。(図 4-3-10)

- ・フランジボルト M6 L=10 (P63 × 4)



- (10) ①ドロップングレジスターを②キャニスタブラケット A に取付けてください。(図 4-3-11)

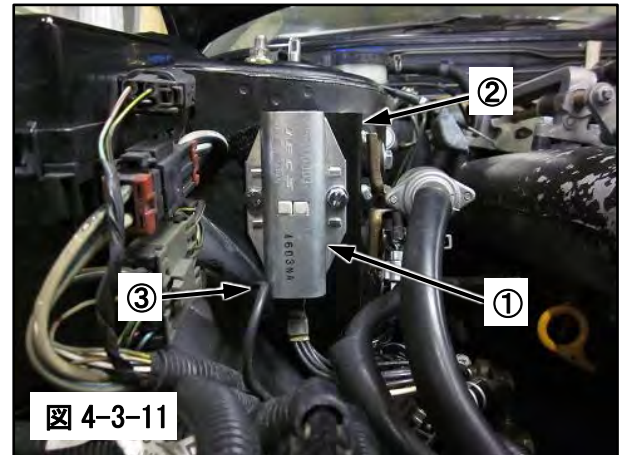
- ・純正ボルト(再使用 × 2)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=8.4~10.8 (0.86~1.1)

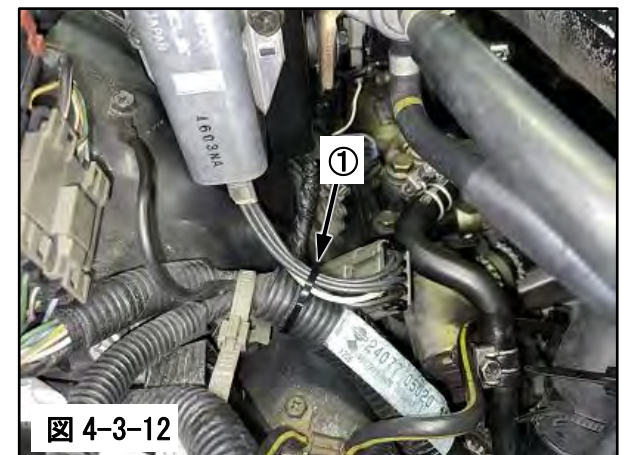
アドバイス

- ③アース線がドロップング レジスターに接触しない様に調整してください。



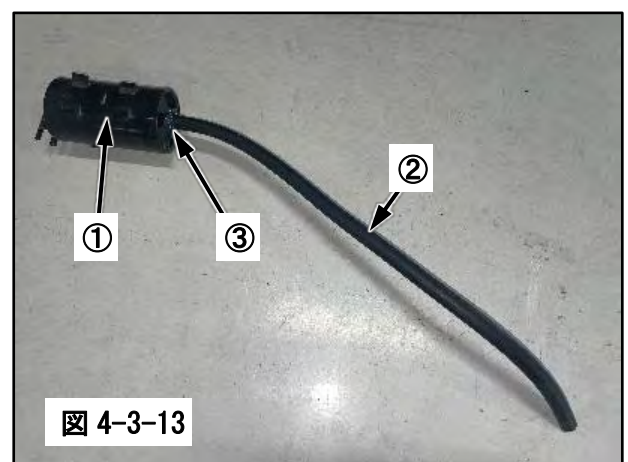
- (11) 接続後のドロップングレジスターの配線はハーネスと①タイラップで固定してください。(図 4-3-12)

- ・タイラップ中 (P88 × 1)



- (12) ①キャニスタタンクに②φ8.0 ホースを接続し③クリップで固定してください。(図 4-3-13)

- ・キャニスタタンク (P72 × 1)
- ・φ8.0 ホース (P26 × 1)
- ・ホースクリップ(P41 × 1)



- (13) ①キャニスタタンクを②キャニスタブラケット B の爪に合わせて取付けてください。(図 4-3-14)

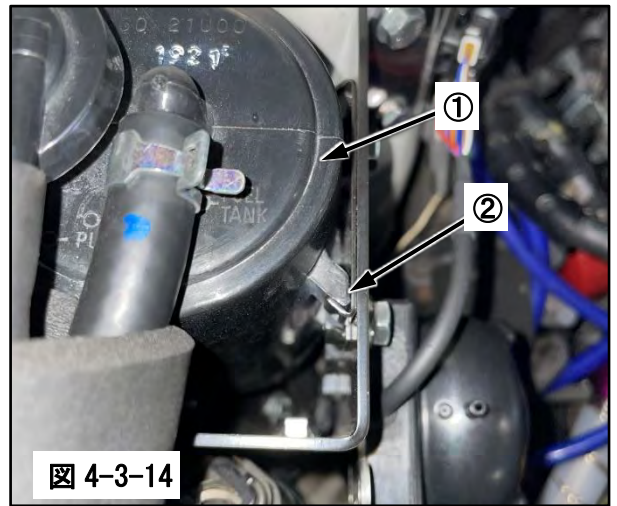


図 4-3-14

- (14) ①φ8.0 ホースをフレームの穴に差し込んでください。
(図 4-3-15)

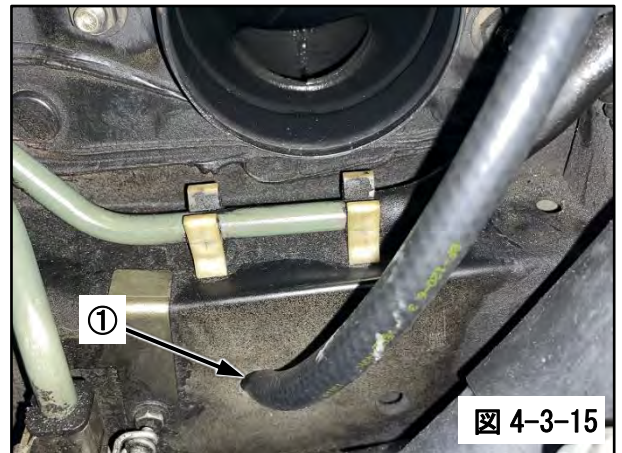


図 4-3-15

- (15) ①φ4.0 ホース、②φ6.3 ホース(800mm)、③φ6.3 ホース(600mm)の3本を④耐熱スポンジチューブに通し、ホースの接続先を間違えないように、マーキングを確認してキャニスタタンクに接続し⑤クリップで固定してください。(図 4-3-16)
- ・耐熱スポンジチューブ (P76×1)
 - ・ホースクリップ φ6 (P40×2)

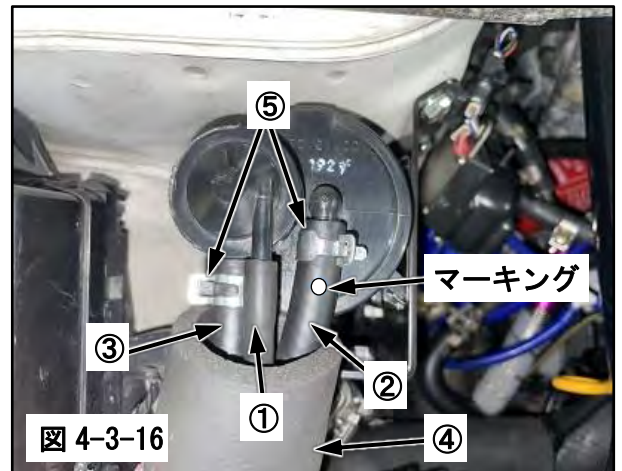


図 4-3-16

- (16) φ6.3 ホース(2 本)をパイプクランプで固定してください。
(図 4-3-17)
- ・パイプクランプ C (P79×1)



図 4-3-17

- (17) ①エアホースを取付けてください。
 ②バッテリーを取付けてください。
 ③マイナス端子は外しておいてください。

(図 4-3-18)

・エアホース(純正再使用×1)

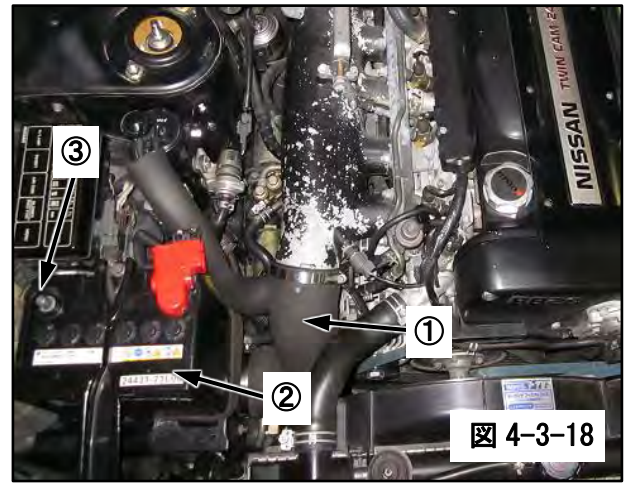


図 4-3-18

4-4. CFRP パイピングの取付け

- (1) ①インレットパイプブラケットに、②リサキュレーションパイプブラケットを③ボルト L=10(2 本)で取付けてください。
 各ブラケットに④インレットパイプを⑤ボルト L=12(2 本)、⑥リサキュレーションパイプを⑦ボルト L=10(2 本)で取付けてください。
 ⑧グロメット(2 個)と⑨カラーM8(2 個)を取付けてください。

(図 4-4-1)

- ・インタークーラーインレットパイプブラケット (P14×1)
- ・リサキュレーションパイプブラケット (P15×1)
- ・カラーM8 (P51×2)
- ・グロメット B (P50×2)
- ・インタークーラーインレットパイプ A (P10×1)
- ・リサキュレーションパイプ (P13×1)
- ・フランジボルト M6 L=10 (P63×2)
- ・フランジボルト M6 L=12 (P64×4)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=8.4~10.8 (0.86~1.1)

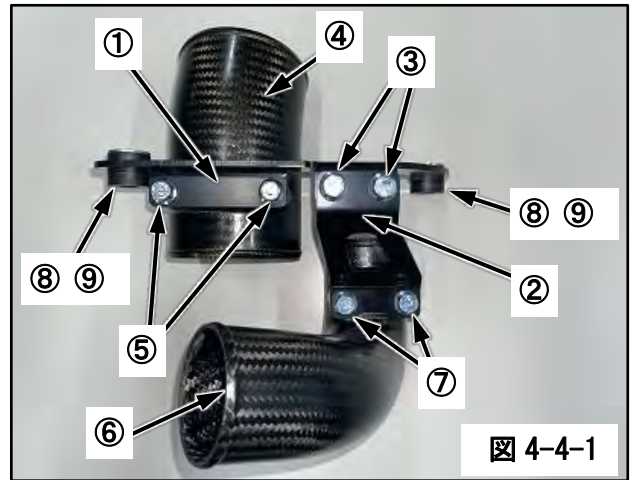


図 4-4-1

- (2) インレットパイプ A の下側に①ホース(φ80×55)を、②ホースバンドで固定してください。
 ③のホースバンドを仮付けしてください。
 リサキュレーションパイプに④ホースを取り付けて⑤ホースバンドで固定してください。
 ⑥ホースバンドを仮付けてください。

(図 4-4-2)

- ・シリコンホース φ50 (P32×1)
- ・シリコンホース φ80 L=55 (P34×1)
- ・ホースバンド 50-65 (P46×2)
- ・ホースバンド 77-95 (P48×2)

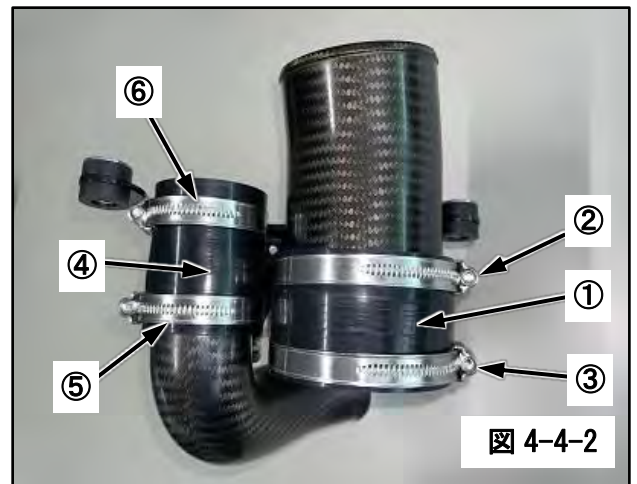


図 4-4-2

- (3) パイプを組付けたブラケットを取付けます。①ボルト(2本)、②ワッシャφ18(2個)を取付けてください。(図4-4-3)

- ・ワッシャφ18 (P55×2)
- ・ボルト M8 L=35 (P69×2)

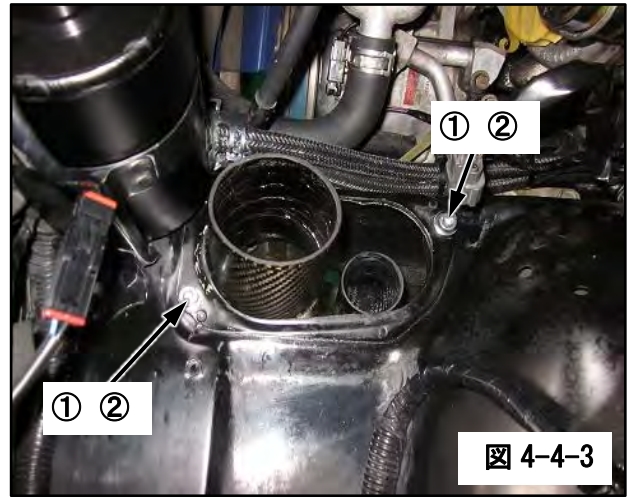


図 4-4-3

- (4) ワッシャ(2個)、②スプリングワッシャ(2個)、③ナット(2個)で取付けてください。(図4-4-4)

(図4-4-4は説明の為にシリコンホース等を取外してあります)

- ・ワッシャ 22 (P56×2)
- ・スプリングワッシャ M8 (P53×2)
- ・ナット M8 (P60×2)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=15.7~20.6 (1.6~2.1)

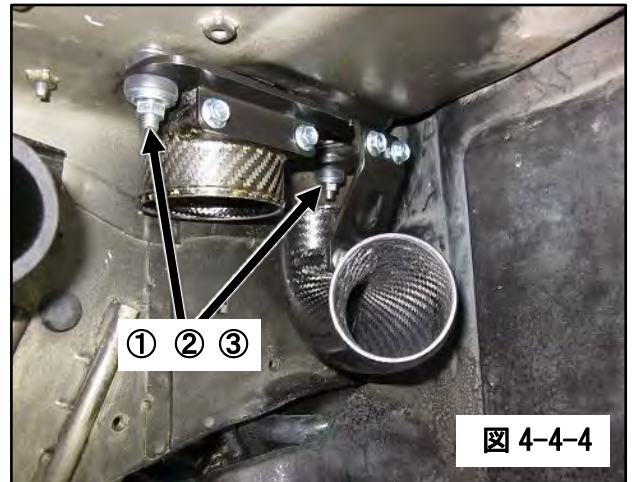


図 4-4-4

- (5) ICとインレットパイプAと①ICインレットパイプBを②φ80ホースで接続して③ホースバンド(3箇所)で固定してください。

(図4-4-5)

- ・インタークーラインレットパイプ B (P11×1)
- ・シリコンホース φ80 L=80(P35×1)
- ・ホースバンド 77-95 (P48×2)

アドバイス

①インレットパイプBには④△の識別マークがあります。識別マークがインタークーラ側となるように方向を確認してください。

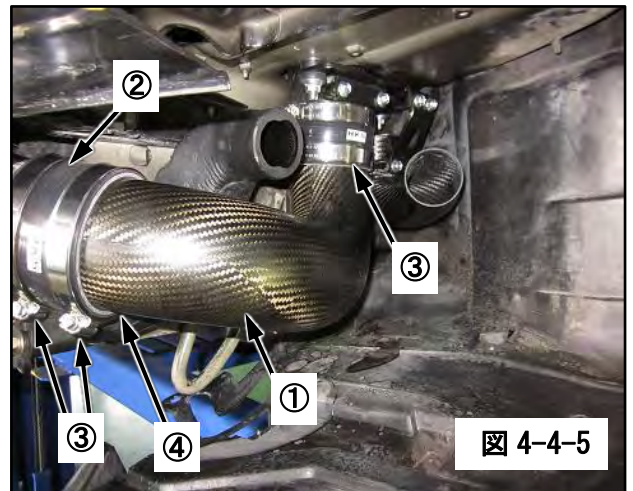


図 4-4-5

- (6) リサキュレーションパイプに①純正ホースを接続してください。ホースバンドは純正を再使用してください。

(図2-4-6)

- ・ホース(純正再使用×1)

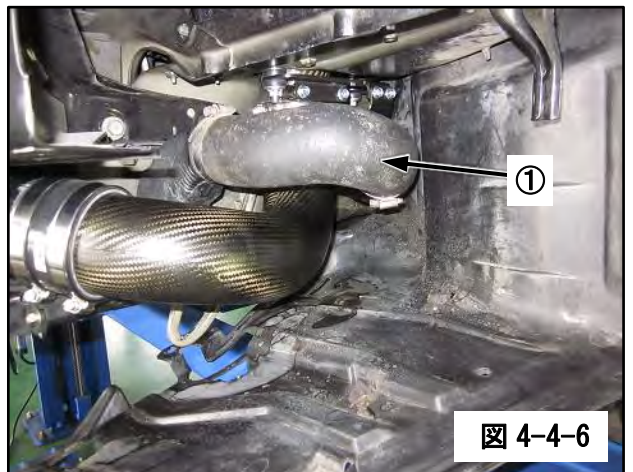


図 4-4-6

- (7) ①ホース φ6.3 を 220mm にカットし、リヤ側アクチュエーターと接続して②クランプで固定してください。(図 4-4-7)

- ・ホース φ6.3 220mm × 1
- ・ホースクランプ φ6 (P40 × 2)

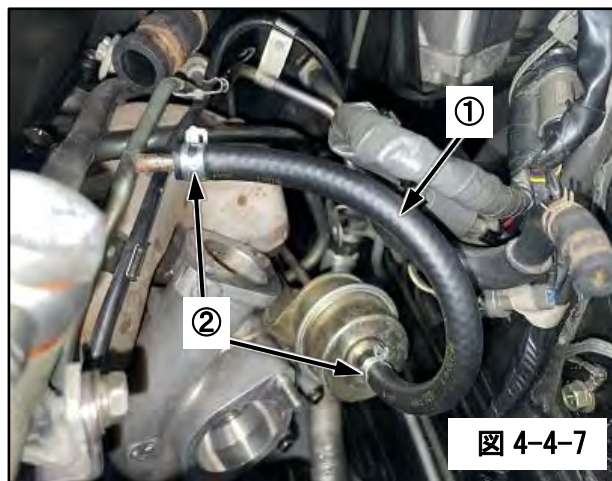


図 4-4-7

- (8) ①サクシヨンパイプ F に②シリコンホース φ38 を③ホースバンドで固定し④ホースバンドを仮付けしてください。(図 4-4-8)

- ・サクシヨンパイプ F (P5 × 1)
- ・シリコンホース φ38 L=60 (P30 × 1)
- ・ホースバンド 50-65 (P45 × 2)

アドバイス

サクシヨンパイプ F 側のホースバンドは予め図 4-4-8 の向きにしてください

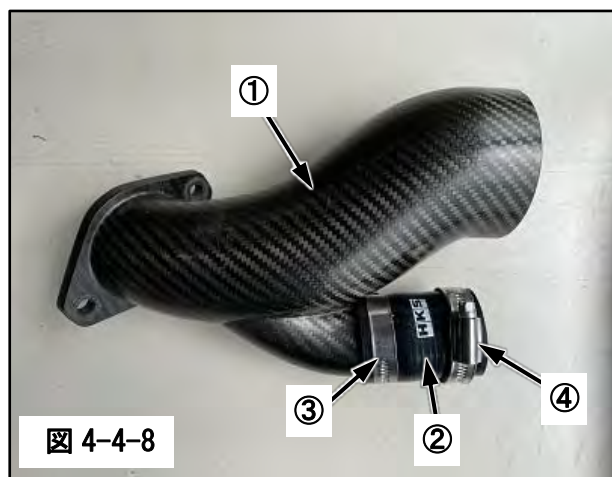


図 4-4-8

- (9) ①サクシヨンパイプ R に②ホースニップル φ6 と③ホースニップル φ16 を取付けてください。

ホースニップルのネジ山部にはシールテープを使用してください。ターボハウジングに近い部分には④サーモシールを貼ってください。

(図 4-4-9)

- ・リヤサクシヨンパイプ R (P6 × 1)
- ・ホースニップル φ6 (P36 × 1)
- ・ホースニップル φ16 (P37 × 1)
- ・サーモシール (P89 × 1)

アドバイス

②、③ホースニップルの PT ねじは、着座するまで締め込まないでください。締めすぎた場合、ねじ部の破損の原因となります。

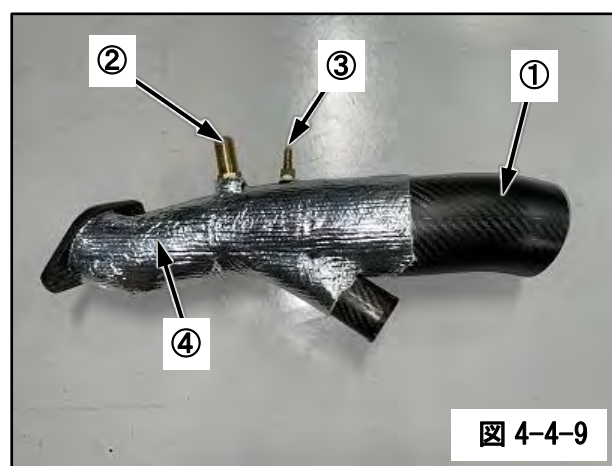


図 4-4-9

- (10) フロント、リヤのコンプレッサーハウジングのサクシヨン側フランジに①スタッドボルト M8 を取付けてください。(図 4-4-10)

- ・スタッドボルト M8 (P57 × 2)

アドバイス

スタッドボルトは先端が平らな方が植込み側です。

フロント、リヤ共に図 4-4-10 の位置(片側)に取付けます。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=8.4~10.8 (0.86~1.1)

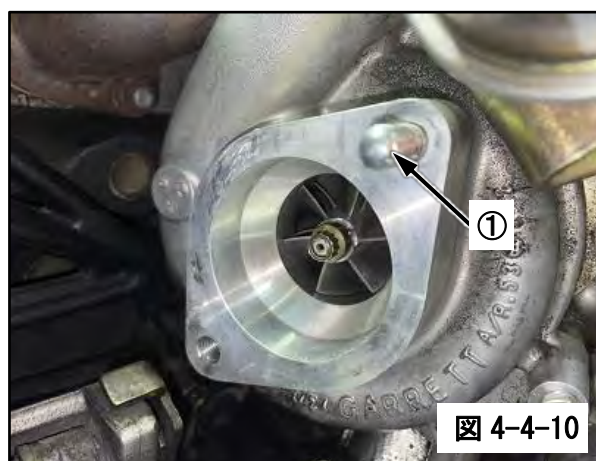


図 4-4-10

- (11) (9)にて組立てた①サクシオンパイプ Rを②ガスケット Aを使い、③フランジナットと④キャップボルトとワッシャで取付けてください。

(図 2-4-11)

- ・サクシオンパイプ R ASSY×1
- ・ガスケット A (P22×1)
- ・フランジナット M8 (P59×1)
- ・キャップボルト M8 L=22 (P67×1)
- ・ワッシャ (P54×1)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=15.7~20.6 (1.6~2.1)

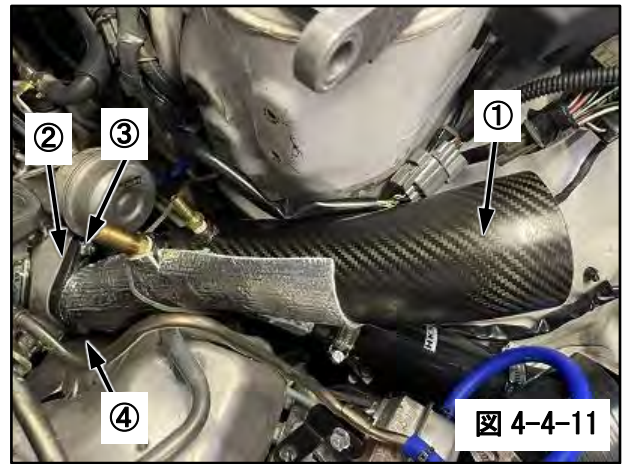


図 4-4-11

- (12) (8)にて組立てた①サクシオンパイプ Fを②ガスケット Aを使い、③フランジナットと④キャップボルトとワッシャで取付けてください。

(図 2-4-12)

- ・サクシオンパイプ F ASSY×1
- ・ガスケット A (P22×1)
- ・フランジナット M8 (P59×1)
- ・キャップボルト M8 (P67×1)
- ・ワッシャ (P54×1)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=15.7~20.6 (1.6~2.1)

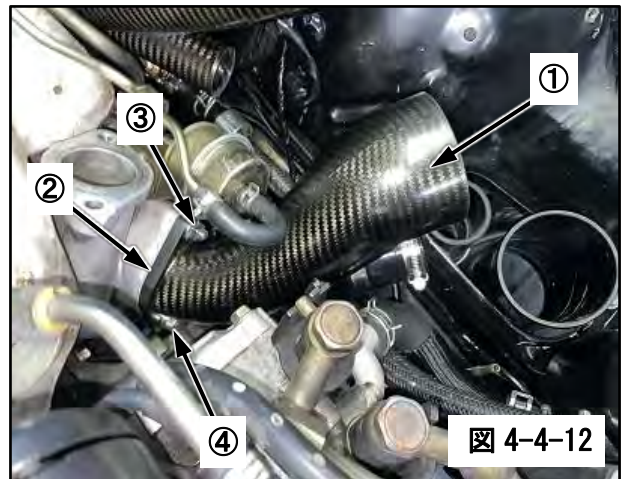


図 4-4-12

- (13) ①リサキュレーションパイプ集合部と②シリコンホースを接続し③サクシオンパイプ F、④サクシオンパイプ Rと接続し⑤ホースバンド(3ヶ所)と⑥ホースバンド(1ヶ所)を固定してください。

(図 4-4-13)

- ・リサキュレーションパイプ集合部 (P12×1)
- ・シリコンホース φ38 L=150 (P31×1)
- ・ホースバンド (P45×2)
- ・ホースバンド (P46×1)

アドバイス

リサキュレーション配管が取付け難い場合はサクシオンパイプの取付けボルト、ナットを緩めて取付けてください。

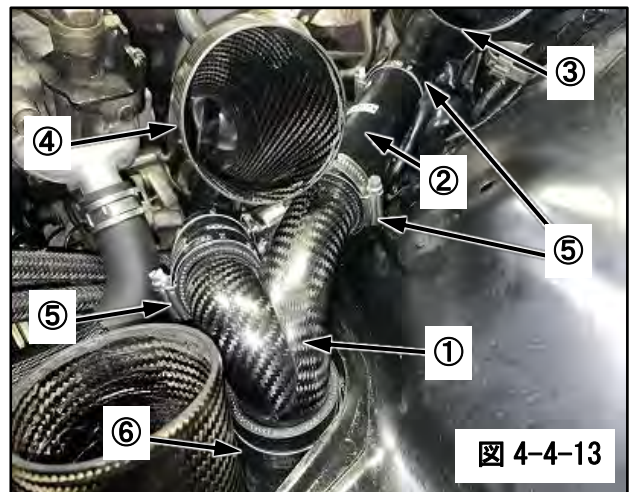


図 4-4-13

- (14) ②耐油ホース φ16を220mmにカットしてください。
①ジョイントパイプ φ16を使って②耐油ホースを③純正ブローバイホースに接続してください。
④ホースニップル φ16と接続してください。
⑤ホースクランプで固定してください。
⑥ホースニップル φ6に純正ホースを接続してください。

(図 2-4-14)

- ・ジョイントパイプ φ16 (P39×1)
- ・耐油ホース φ16 (P28×1)
- ・ホースクランプ φ16 (P42×2)

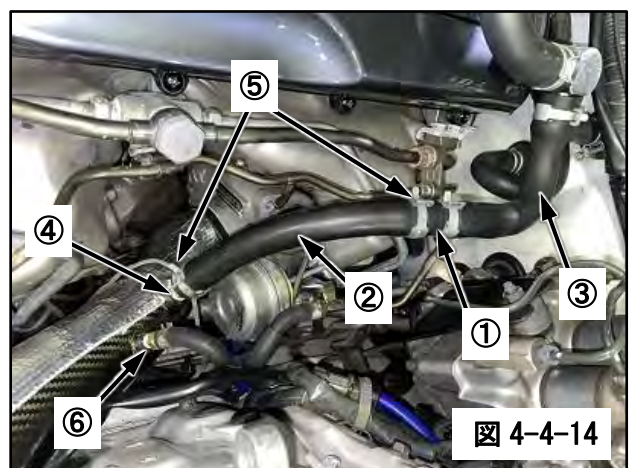


図 4-4-14

(15) ①エアダクトインシュレータ A を取付けてください。(図 4-4-15)

・エアダクトインシュレータ A (P18 × 1)

アドバイス

HKS ロゴが上側となるように取付けてください。

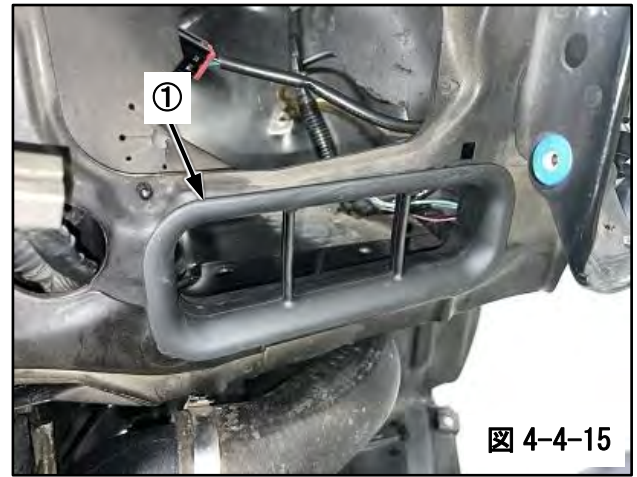


図 4-4-15

(16) ①エアインダクションボックスに②エアフロセンサを③フランジボルトで取付けてください。(図 2-4-16)

・エアインダクションボックス (P1 × 1)

・エアフロセンサ (P21 × 2)

・フランジボルト M4 L=8 (P62 × 4)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=1.21~2.21 (0.12~0.23)

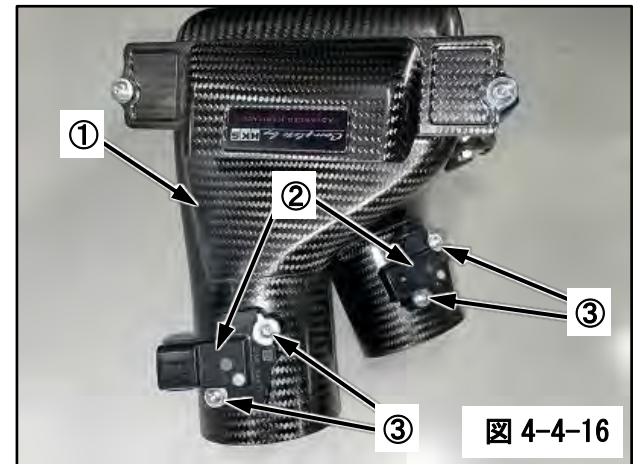


図 4-4-16

(17) ①インダクションボックスブラケット F に②グロメット B と③カラー M6 を取付けし、④インダクションボックスに⑤ボルト(2 本)で取付けてください。(図 4-4-17)

・インダクションボックスブラケット F (P3 × 1)

・グロメット B (P50 × 2)

・カラー M6 (P52 × 2)

・フランジボルト M6 L=12 (P64 × 2)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=8.4~10.8 (0.86~1.1)

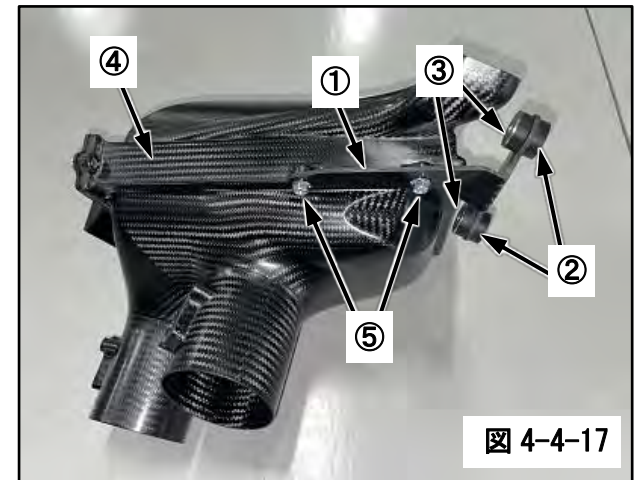


図 4-4-17

(18) サクションパイプに①ホースと②ホースバンドを取付けてください。③エアインダクションボックスを取付けてください。

④エアフロ変換ハーネスで純正ハーネスとエアフロを繋いでください。

(図 2-4-18)

・エアインダクションボックス (P1 × 1)

・シリコンホース φ80 L=55 (P34 × 2)

・ホースバンド 77-95 (P48 × 4)

・エアフロ変換ハーネス (P83 × 2)

アドバイス

インダクションボックスはフェンダー側のエアダクト B に合わせながらインダクションボックスを回転する様にフロント側のエアダクト A を合わせて取付けてください。ゴムダクトのふちに、変形が生じないようにインダクションボックスを取付けてください。

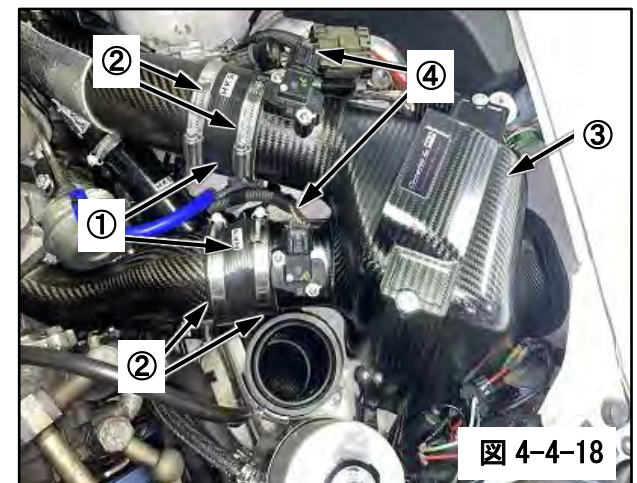


図 4-4-18

(19) ブラケット F のグロメット部に①ボルト(2 本)を仮付けしてください。

(図 4-4-19)

・キャップボルト M6 L=25 (P66 × 2)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=8.4~10.8 (0.86~1.1)

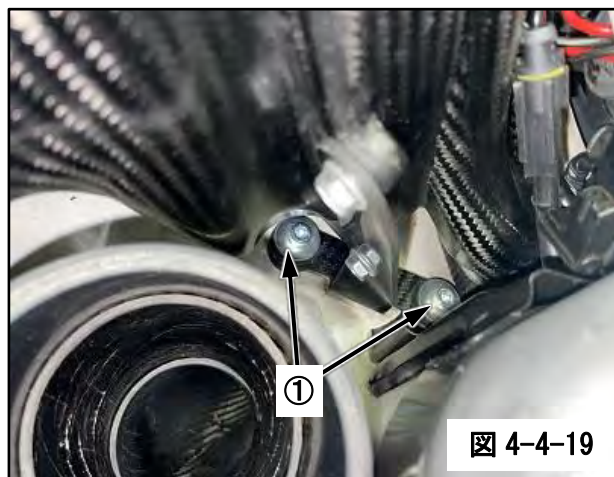


図 4-4-19

(20) ブラケット R とインダクションボックスを①ボルト(2 本)で固定し、

(19)で仮付けしたボルトを締めてください。(図 4-4-20)

・フランジボルト M6 L=12 (P64 × 2)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=8.4~10.8 (0.86~1.1)

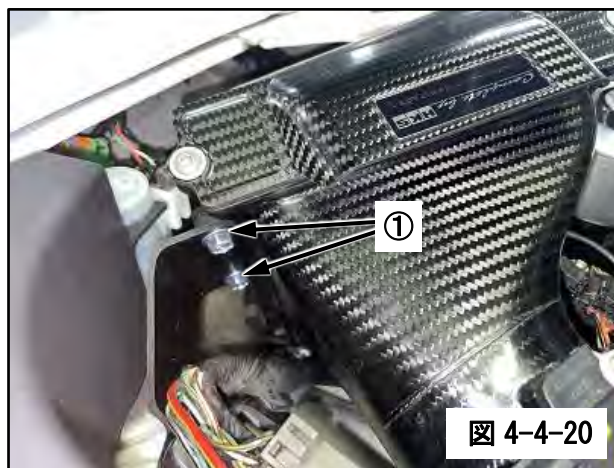


図 4-4-20

(21) ①ウォッシュ液チューブと②ウインカハーネスの挟み込みに注意してください。(図 4-4-21)

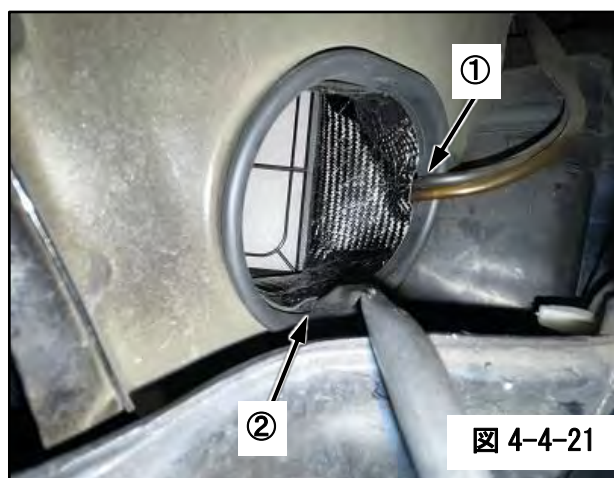


図 4-4-21

(22) ①エアパイプブラケット F をエアパイプに②ボルト、ナットで仮止めしてください。(図 4-4-22)

・エアパイプブラケット F (P16 × 1)

・フランジボルト M6 L=12 (P64 × 1)

・フランジナット M6 (P58 × 1)



図 4-4-22

(23) ①エアパイプブラケット R をエアパイプに②ボルト、ナットで仮止めしてください。(図 4-4-23)

- ・エアパイプブラケット R (P17×1)
- ・フランジボルト M6 L=12 (P64×1)
- ・フランジナット M6 (P58×1)

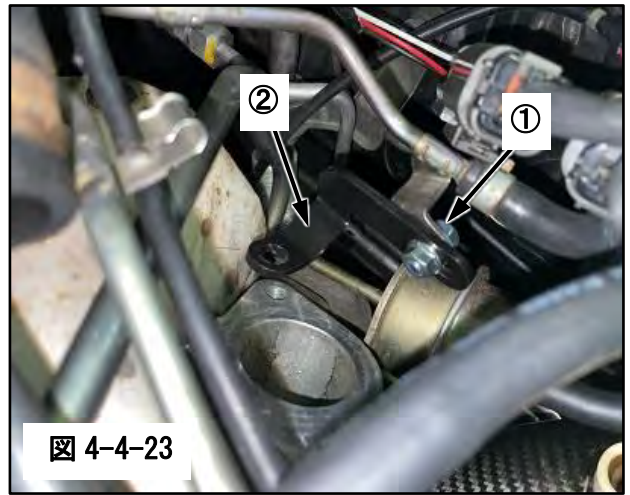


図 4-4-23

(24) ①チャンバパイプ F を②ガスケットを使い③ボルト、スプリングワッシャ、ワッシャで④エアパイプブラケットと共締めしてください。

⑤ボルト、スプリングワッシャ、ワッシャと⑥フランジナットを取付けてください。

仮付けした⑦ボルト、ナットを締めてください。

(図 4-4-24)

- ・チャンバパイプ F (P7×1)
- ・ガスケット B (P23×2)
- ・スプリングワッシャ (P53×2)
- ・平ワッシャ (P54×2)
- ・フランジナット M8 (P59×1)
- ・ボルト M8 L=25 (P68×1)
- ・ボルト M8 L=35 (P69×1)

締付けトルク N・m(kgf・m)

M8: T=15.7~20.6 (1.6~2.1)

M6: T=8.4~10.8 (0.86~1.1)

アドバイス

チャンバパイプ F には判別用の①△マークがあります。

(図 4-4-25)

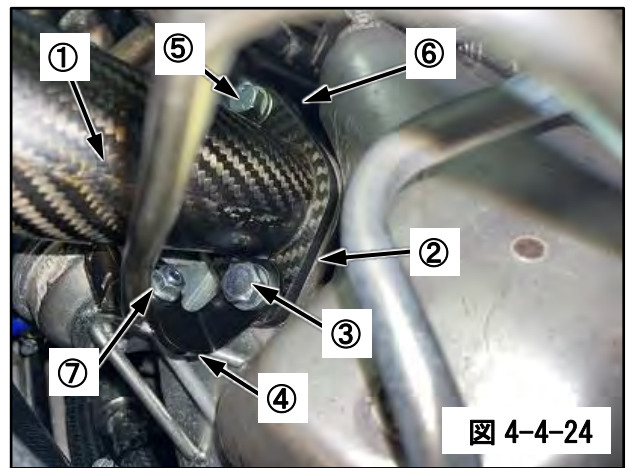


図 4-4-24

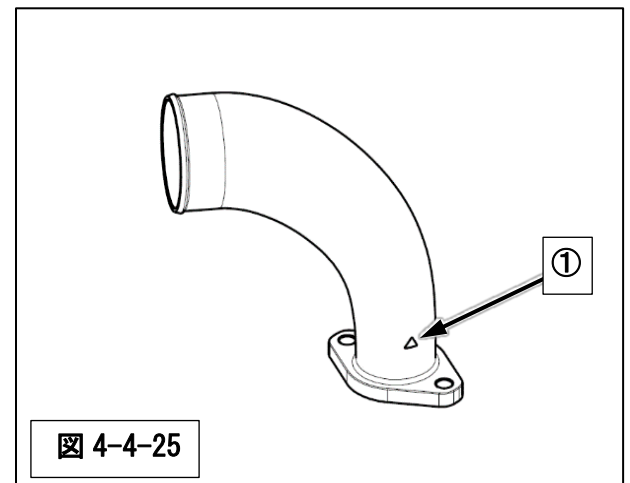


図 4-4-25

- (25) ①チャンバパイプ R を②ガスケットを使い③ボルト、スプリングワッシャ、ワッシャで④エアパイプブラケットと共締めしてください。
⑤ボルト、スプリングワッシャ、ワッシャと⑥フランジナットを取付けてください。

仮付けした⑦ボルト、ナットを締めてください。

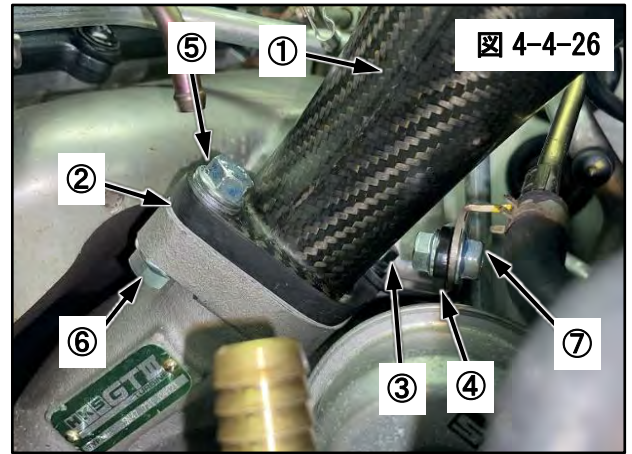
(図 4-4-26)

- ・チャンバパイプ R (P8 × 1)
- ・ガスケット B (P23 × 2)
- ・スプリングワッシャ (P53 × 2)
- ・平ワッシャ (P54 × 2)
- ・フランジナット M8 (P59 × 1)
- ・ボルト M8 L=25 (P68 × 1)
- ・ボルト M8 L=35 (P69 × 1)

締付けトルク N・m(kgf・m)

M8: T=15.7~20.6 (1.6~2.1)

M6: T=8.4~10.8 (0.86~1.1)



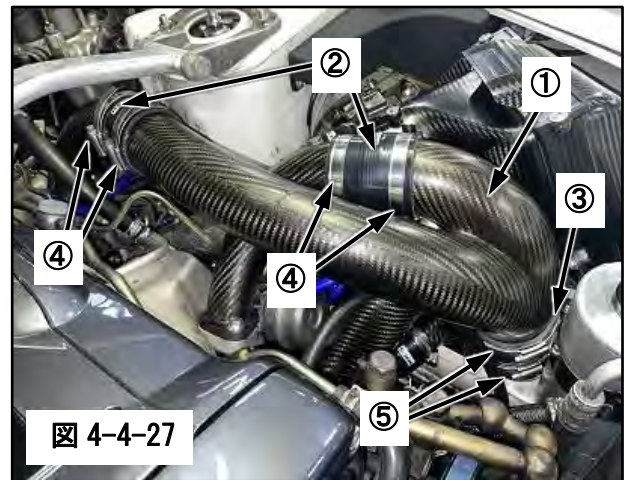
- (26) ①チャンバパイプ集合配管を②シリコンホース(2 個)と③シリコンホース(1 個)で繋ぎ④ホースバンド(4 個)と⑤ホースバンド(2 個)で取付けてください。(図 4-4-27)

- ・チャンバパイプ集合部 (P9 × 1)
- ・シリコンホース φ60 L=70 (P33 × 2)
- ・シリコンホース φ80 L=80 (P35 × 1)
- ・ホースバンド 58-75 (P47 × 4)
- ・ホースバンド 77-95 (P48 × 2)

アドバイス

各パイプ部品の接続部が合わない場合は、各締結部を緩め、位置出しした上で再度締め直してください。

※車両の状態によっては、エキゾーストマニホールド締結部、ターボチャージャー締結部およびコンプレッサーハウジング位置の調整が必要となります。



5. ノーマルパーツの取付け

各作業は必ずメーカー発行の整備要領書 (A006020、A006021) 及び本書に準じて作業を行ってください。

- (1) ヘッドライトを取付けてください。
- (2) バンパフェーシアを取付けてください。
- (3) ナンバープレートを取付けてください。
- (4) フロントコンビネーションランプを取付けてください。
- (5) フロントグリルを取付けてください。
- (6) アンダーカバーを取付けてください。
- (7) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。



警告

- ✓ バッテリーのマイナス端子のターミナルを外してから作業を行ってください。
- ✓ コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。
 - 電気ショートによる電装部品の破損及び焼損、火災の恐れがあります。

6. パワーステアリング (PS) 油圧回路のエア抜き

※PS フルードを準備してください。

- (1) 車両をリフトアップしてください。
- (2) PS タンクに PS フルードを補充してください。
 - ・PS フルード (お客様ご自身でご用意ください)
- (3) ステアリングホイールを左右いっぱいまで切返し、油面の低下及び PS タンク内の気泡発生がなくなるまで繰返してください。

アドバイス

油面は絶対に吸入口まで低下させないよう途中で補充してください。

- (4) エンジンを始動し、アイドル状態で 6-1.(3)の作業を繰返してください。
- (5) 油量を点検し、規定量にしてください。

アドバイス

エア抜きが完全でない場合は以下のような現象が出るので再度エア抜きを行ってください。

- ① PS タンク内に気泡が発生する。
- ② PS ポンプから小石がはねるような音をする。
- ③ PS ポンプのうなりが大きい。
- ④ ステアリングの据え切り時あるいはゆっくりした操舵時にギヤのバルブ及び PS ポンプから流体音が発生することがあります。この流体音はステアリング性能や耐久性には、何ら影響を及ぼすことのない作動音です。



警告

- ✓ PS フルードが漏れていないことを確認してください。
- ✓ 漏れている場合は、ホースバンドを締めなおし、漏れがないことを確認してください。
 - そのまま放置すると 車両火災及び PS ポンプの焼付き等車両損傷の恐れがあります。

7. エンジン制御について

本製品は吸入空気量の増加に対応するため専用エアフロセンサを採用しています。このため、本製品を装着した場合 F-CON V Pro などのエンジン適合ツールによる適合が必要となります。(※ノーマル ECU は使用できません)

適合を行う場合は、エアフロセンサ特性データ(FVH 形式、txt 形式)を下記の HKS 専用ページからダウンロード 又は 以下のエアフロセンサ特性データ表に記載されている値を使用してください。

HKS ADVANCED HERITAGE CFRP INTAKE SYSTEM BNR32

エアフロセンサ特性データ ダウンロードページ

https://www.hks-power.co.jp/product_db/intake/db/33150



エアフロセンサ特性データ表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
流量 [L/min]	213	229	246	262	355	433	567	770	1010	1261	1528	1838	2198	2615	3094	3640
電圧 [mV]	718	790	862	935	1080	1225	1370	1515	1660	1806	1951	2096	2241	2387	2532	2677

17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
4264	4964	5748	6624	7594	8668	9856	11150	12559	14086	15721	17487	19468	21583	23874	26813
2822	2967	3112	3257	3402	3548	3693	3838	3983	4128	4274	4419	4564	4709	4854	5000

取付け終了後の確認

●取付け終了後、以下の項目に従い確認を行ってください

確認項目	始動前	始動後	停止後	走行時
① パイプ・ホース類の配管がまちがっていないか。	✓			
② ホースにねじれや過度の曲げがないか。	✓			
③ ホースバンドが確実に締まっているか。	✓		✓	
④ ボルト・ナット類が確実に締まっているか。	✓		✓	
⑤ 取付けた部品が他の部品と干渉していないか。	✓		✓	
⑥ 取付けた部品がしっかり固定されているか。	✓		✓	
⑦ バッテリのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	✓			
⑧ パワーステアリングフルードが規定量であるか。	✓		✓	
⑨ 各部からエアがもれていないか。		✓	✓	
⑩ 各部からオイル・冷却水・燃料もれはないか。		✓	✓	
⑪ 軽く空吹かしを 2、3 度行ないスムーズにエンジン回転が上昇するか。		✓		✓
⑫ 部品による干渉音がないか。		✓		✓
⑬ 取付けた部品が正常に作動しているか。(目視及び計測器による確認)		✓		✓
⑭ 設定過給圧になっているか。				✓

維持・管理

- 快適に運転していただくために、お車を運転する前には必ず日常点検を行なってください。
日常点検はドライバの責任です。必ず実施してください。
- ユーザマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。
- CFRP などの樹脂部品について、長期間の直射日光下での保管は劣化を早めるためお避けください。
- 定期的にボルト、ナット等の締結部に緩みやガタがないか確認してください。
- エアフィルタの性能を維持するため、フィルタの交換は定期的に行ってください。
※但し、使用状況及び環境により条件が異なるため、汚れ具合によっては早めの交換を推奨します。
交換目安 : 3,000~5,000km 毎又は、3~6 ヶ月毎
交換用フィルタ : スーパーエアフィルタ用交換フィルタ M2 サイズ (255mm × 232mm)
交換用フィルタ品番 : 70017-AK104
✓ エアフィルタ交換方法については、本書 40 頁を参照してください。

異常・故障時の対応

- 故障の修理はお客様ご自身では対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、異音、異臭、振動等の異変があった場合は、直ちに車両の運転を中止し、専門業者に修理を依頼してください。

アフターサービスについて

- 本製品に関するお問い合わせは、専門業者又はお買上の販売店までお問合せください。

① 取付け日	
② 取付け業者様	
③ 連絡先(業者様)	
④ 担当者(業者様)	
⑤ お客様 氏名	

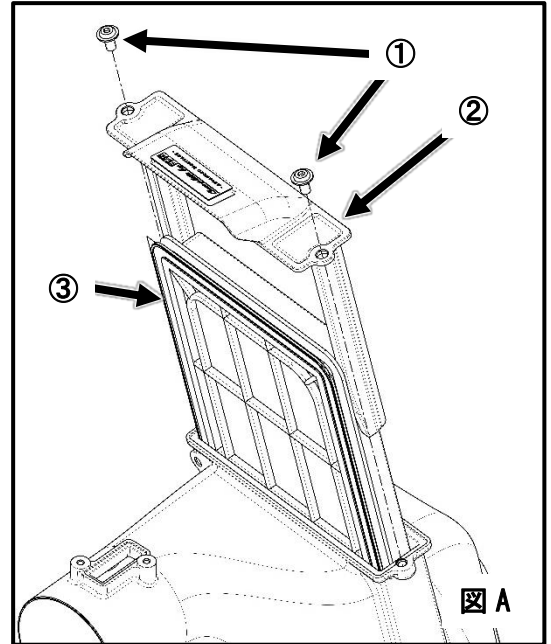
譲渡・廃却について

- 本製品を車両より取外す場合は、必ず専門業者に依頼してください。
- 本製品を廃却する場合は、お客様ご自身で対処せず必ずお買上の販売店又は専門業者に依頼してください。

エアフィルタの交換方法について

●以下の手順に従って、エアフィルタを交換してください。

- (1) ①ボルト(2本)を取外し②インダクションボックススリッドを引抜いてください。
- (2) インダクションボックスから③エアフィルタを取出してください。(図 A)



- (3) ③エアフィルタのフレームを分解し、古いフィルタを取り除いてください。
その際にフレームを破損しないように作業してください。(図 B)

- (4) 交換用フィルタをカットしてください。(下記フィルタカット方法参照)
- (5) カットした新しいフィルタをフレームに装着してください。

フレーム刻印の[OOOO-T]側に目の粗い面が向くように装着してください。また、装着面に隙間がないことを確認してください。

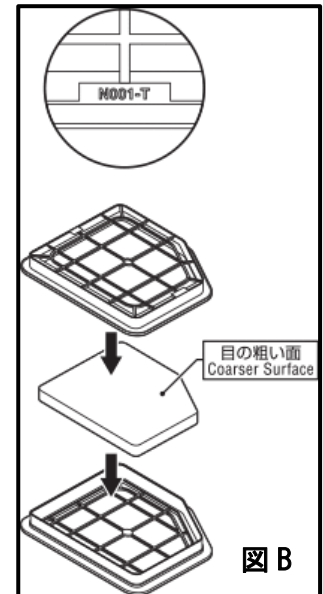
- (6) フレームを組み立ててください。
- (7) 車両に元通りに取付けてください。

③フィルタ、②インダクションボックススリッドを図 A の方向に取付けてください。①ボルトを締めてください

・フランジボルト M6 L=12 (P61 × 2)

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=8.4~10.8 (0.86~1.1)



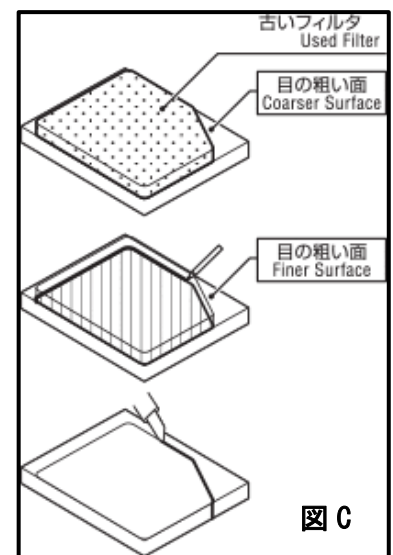
フィルタカット方法

- (i) 取り除いた古いフィルタを重ねるなどしてカット形状を確認してください。(図 C)
- (ii) 形状を確認したらその形状のラインに沿ってフィルタに油性ペンなどでカット線をトレースしてください。
- (iii) ラインに沿ってカットしてください。

アドバイス

本製品のフィルタカット目安は 245mm × 153mm(長方形)

フィルタの目の粗い面が外気側に、目の細かい面がエンジン側になります。





株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181

<https://www.hks-power.co.jp/>